

2016年11月30日(水)

ポスター・展示会場

Late-breaking Abstracts | 分子構造・生命情報 | ゲノム・遺伝子・核酸

[1LBA_1-a] 1-a 分子構造・生命情報 - ゲノム・遺伝子・核酸

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-001] 寄生植物の宿主への寄生における ncRNAの働き

○青木 考¹、清水 皇稀¹、田中 啓介²、矢嶋 俊介²
(1.大阪府大・生命環境、2.東京農大・生物資源ゲノム解析センター)

[1LBA-002] 大腸菌多剤排出システム AcrAB遺伝子領域の重複による多剤耐性化

○稲岡 隆史¹ (1.農研機構・食品研究部門)

[1LBA-003] ロングリードシーケンサー、PacBio RS IIIによる乳酸菌の完全長ゲノム配列決定

○中野 和真¹、佐藤 万仁¹、保 日奈子¹、城間 安紀乃¹、大木 駿¹、下地 真紀子¹、安次嶺 典子¹、新里 美寿々¹、南 茉緯子¹、中西 哲大¹、照屋 邦子¹、鈴木 千セ²、野村 将²、木元 広美²、小林 美穂²、守谷 直子²、萩 達朗²、小川 智子²、平野 隆¹ (1.沖縄綜研・研究開発、2.農研機構)

[1LBA-004] RamDA-seq: 完全長を捉える新規1細胞トータル RNAシーケンス法

○林 哲太郎¹、笹川 洋平¹、尾崎 遼¹、團野 宏樹¹、梅田 茉奈¹、二階堂 愛¹ (1.理研・情報基盤センター・バイオインフォ)

[1LBA-005] クロレラ共生種・自由生活種、そして巨大ウイルスのゲノム比較から迫るゲノム共進化とウイルス抵抗性獲得機構

○嶺井 隆平¹、秋月 祐輝¹、植田 侑希¹、保科 亮¹、小倉 淳¹ (1.長浜バイオ大学)

[1LBA-006] 珪藻ゲノム・トランスクリプトーム解析から迫る、赤潮分子発生メカニズム

○秋月 祐輝¹、長井 敏²、芋田 裕彰¹、小倉 淳¹
(1.長浜バイオ大・院バイオサイエンス・バイオサイエンス、2.国立研究・水産研究・中央水産研)

[1LBA-007] 全ゲノムシーケンスを使った iPS細胞のクローム構造の解析

○天野 直己¹、高橋 朋子¹、野村 真樹¹、北岡 文美代¹、桑原 順子¹、北野 優子¹、山中 伸弥¹、高須 直子¹
(1.京大・CiRA)

[1LBA-008] 複合ストレス抵抗性コシヒカリのゲノム育種

○竹谷 友希¹、富田 因則² (1.静岡大・院総合科学技術・農学、2.静岡大・グリーン科学技術研究所)

[1LBA-009] ツメガエルケモカイン遺伝子の網羅的解

析:異質四倍体化による遺伝子進化

○福井 彰雅¹、松波 雅俊² (1.北大・院・先端生命、2.琉球大・医・先端医学)

Late-breaking Abstracts | 分子・複合体の機能 | DNA複製

[1LBA_2-a] 2-a 分子・複合体の機能 - DNA複製

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-010] アミノ末端側領域を欠いた ORC1サブユニットを含む変異 ORCの一本鎖 DNA結合活性の解析
○保科 祥子¹、和賀 祥¹ (1.日本女子大・理・物質生物)

[1LBA-011] 結晶構造から明らかになった古細菌 GANの DNA複製での CMG因子および修復でのヌクレアーゼとしての2つの役割

○大山 拓次¹、石野 園子²、白井 剛³、山上 健²、永田 麻梨子²、尾木野 弘実^{2,4}、楠木 正巳¹、石野 良純²
(1.山梨大・生環、2.九大院・農、3.長浜バイオ・バイオサイエンス、4.岐阜大・工)

Late-breaking Abstracts | 分子・複合体の機能 | 組換え・変異・修復

[1LBA_2-b] 2-b 分子・複合体の機能 - 組換え・変異・修復

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-012] mutant p53 functions depend on short isoforms

○Marco M Candeias^{1,4}、Masatoshi Hagiwara^{3,5}、Mitsuyuki Matsuda^{2,6} (1.Molecular and RNA Cancer Unit, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan、2.Laboratory of Bioimaging and Cell Signaling, Graduate School of Biostudies, Kyoto University, Kyoto, Japan、3.Department of Anatomy and Developmental Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan、4.Departamento de Genetica Humana, Instituto Nacional de Saude Dr. Ricardo Jorge, Lisboa, Portugal、5.Medical Research Support Center, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan、6.Department of Pathology and Biology of Diseases, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan)

[1LBA-013] MYCN増幅型の神経芽腫細胞において SGO1は DNA損傷応答に関わる

○村上 (渡並) 優子^{1,2}、池田 遥奈¹、山岸 良多¹、稲

吉 真央^{1,3}、稲垣 志保^{1,3}、岸田 聡²、小俣 洋介²、Koster Jan⁴、竹内 一郎⁵、近藤 豊⁶、前田 徹³、関戸好孝^{1,7}、村上 浩士⁸、門松 健治² (1.愛知がんセ・分子腫瘍、2.名大・院医・分子生物、3.金城学院大・薬、4.Dept. of Oncogenomics, AMC, Univ. of Amsterdam、5.名工大・情報工学、6.名古屋市大・院医・ゲノム制御、7.名大・院医・細胞工学、8.中大・理工・分子細胞遺伝)

[1LBA-014] 定常期における分裂酵母 *fbh1*欠損株の生存率の低下と Rad51 リコンビナーゼの蓄積

○鈴木 舜²、黒川 裕美子³、村山 泰斗^{1,2}、岩崎 博史^{1,2} (1.東工大・科学技術創成研究院、2.東工大・院・生命理工、3.東工大・情報生命博士教育院)

[1LBA-015] ミスマッチ修復欠損細胞における PolQ依存的な DNA二重鎖切断修復

○清水 敦弘¹、熱海 悠子¹、皆川 祐輔¹、土橋 祥子¹、吉岡 研一¹ (1.国立がん研究センター研究所、発がん・予防分野)

[1LBA-016] 直鎖状二重鎖 DNA多量体形成促進における Rad51の DNA結合の必要性

○小林 純¹、此村 直人²、柴田 武彦^{3,4}、新井 直人¹ (1.日本大・生物資源・応用生物、2.横浜市大院・生体超分子、3.首都大東京・院理工、4.理研)

[1LBA-017] ヒトのリボソーム RNA遺伝子における SIRT6の機能解析

○鈴木 雄^{1,2}、赤松 由布子¹、小林 武彦¹ (1.東大分生研 ゲノム再生、2.東工大 院生命理工 生体システム)

[1LBA-018] 分裂酵母 Dmc1の DNA鎖交換活性に与える二価イオン (Ca^{2+}/Mg^{2+}) の影響

○黒川 裕美子¹、真木 孝尚²、寺田 行宏³、小甲 裕一⁴、伊藤 健太郎³、村山 泰斗^{2,3}、筒井 康博³、Masayuki Takahashi³、池口 満徳⁵、岩崎 博史^{2,3} (1.東工大・情報生命博士教育院、2.東工大・科学技術創成研究院、3.東工大・院・生命理工、4.三井情報・バイオメディカル室、5.横浜市大・院・生命医科学研究科)

[1LBA-019] Mre11は TopII-DNA複合体を除去するために必須である。

○笹沼 博之¹、Hoa Ngoc Nguyen¹、清水 翼¹、Zhang Hong Wei Zhou²、Zhao-Qi Wang²、Rajashree Deshpande³、Tanya Paull³、Salma Akter¹、津田 雅真¹、古田 良平⁴、筒井 研⁴、武田 俊一¹ (1.京都大学医学研究科放射線遺伝学、2.ライブニッツ研究所、3.テキサス大学オースチン校、4.岡山大学医歯薬

学総合研究科脳神経機構学)

[1LBA-020] DNA二本鎖切断修復におけるヒト *WHSC1* 遺伝子の機能解析

○小川 敬史¹、斎藤 慎太¹、足立 典隆^{1,2} (1.横浜市大・生命ナノシステム、2.横浜市大・先医研)

[1LBA-021] 連続的翻訳後修飾による紫外線損傷 DNA認識タンパク質 DDB2の制御

○金岡 英徳¹、萩原 遥太¹、奥崎 雄也¹、飯島 信司¹ (1.名古屋大・院工・生物機能)

[1LBA-022] ヒト DNA二本鎖切断修復における XRCC4 と LIG4 の機能解析

○山下 顕裕¹、斎藤 慎太¹、内田 夏海¹、足立 典隆^{1,2} (1.横浜市大・院・生命ナノ、2.横浜市大・院・先端医科研)

Late-breaking Abstracts | 分子・複合体の機能 | RNA・RNP

[1LBA_2-e] 2-e 分子・複合体の機能 - RNA・RNP
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-023] 骨格筋細胞分化を制御する新たな機能性 RNAの解明

○永野 ひかる¹、富田 知里³、奥村 裕司¹、近藤 茂忠^{2,3} (1.相模女大・栄科・健康、2.大阪府立大・総リハ・栄養、3.徳大・HBS・生体栄養)

[1LBA-025] RNAの二次構造集合の ZBDDによる表現とマイニング

○能城 秀彬¹、Anish M.S. Shrestha²、浅井 潔² (1.東大・総合文化、2.東大・新領域・メディカル情報生命)

[1LBA-026] 成熟脳における神経接着因子 Neurofascin の選択的スプライシング制御

○飯島 崇利¹、鈴木 暁子¹、日高 千晴¹、鮎川 典子¹、飯島 陽子¹ (1.東海大・創造機構)

[1LBA-027] β -cateninによる ASBEL-TCF3複合体の発現亢進が、大腸がんの腫瘍形成能に必須である。

○谷上 賢瑞¹、秋山 徹¹ (1.東大・分生研・分子情報)

[1LBA-028] マウス精巢生殖細胞特異的な *lncRNA-Tcam1* が調節する標的遺伝子の同定

○大塚 海¹、栗原 美寿々²、松原 伸³、白石 慧³、佐竹 炎³、木村 敦^{1,4} (1.北大・院生命科学、2.基礎生物学研究所、3.サントリー生命科学財団、4.北大・院理・生物科学)

Late-breaking Abstracts | 方法論・技術 | イメージング

[1LBA_6-g] 6-g 方法論・技術 - イメージング
16:45 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-024] スパイクおよび閾値下電位の2光子励起生体膜電位イメージング

○坂本 雅行^{1,2}、阪東 勇輝²、Vincent Pieribone³、Rafael Yuste² (1.東大・院医・神経生化学、2.コロンビア大・生物科学部、3.イエール大・医学部)

Late-breaking Abstracts | 細胞の構造と機能 | 染色体・核内構造体

[1LBA_3-a] 3-a 細胞の構造と機能 - 染色体・核内構造体

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-029] 減数分裂期前期相同染色体対合に寄与するncRNA及び制御因子の特定と解析

○丁 大橋¹、岡正 華澄¹、長濱 有紀¹、原口 徳子¹、平岡 泰² (1.情報通信研究機構未来ICT研究所、2.阪大・生命機能)

[1LBA-030] リボソーム RNA遺伝子は DNA複製阻害タンパク質 Fob1に依存して核膜に結合する

○堀籠 智洋¹、鶴之沢 英理^{1,2,3}、小林 武彦^{1,2,3} (1.東大・分生研、2.遺伝研、3.総研大)

[1LBA-031] RNAによる M期染色体の構造と結合タンパク質の維持

○加藤 かざし¹、小暮 祐一朗¹、林 優樹¹、木村 圭志¹ (1.筑波大学大学院・生命環境科学研究科)

Late-breaking Abstracts | 細胞の構造と機能 | 細胞質オルガネラ

[1LBA_3-b] 3-b 細胞の構造と機能 - 細胞質オルガネラ

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-032] evectin-2は Nedd4 family E3 ligaseのRE局在を制御する

○野口 大心¹、松平 竜之¹、家村 俊一郎²、夏目 徹³、田口 友彦⁴、新井 洋由^{1,4,5} (1.東大・院薬・衛生化学、2.福島県立医科大・医療-産業TRセンター、3.産総研・創薬分子プロファイリング研究センター、4.東大・院薬・疾患細胞生物学、5.AMED-CREST・AMED)

[1LBA-033] ミトコンドリアを標的とした BAG6新規機能の探索

○林下 瑞希¹、川原 裕之¹ (1.首都大・院理工・生命科学)

[1LBA-034] リサイクリングエンドソームにおけるホスファチジルセリンフリッパーゼ ATP8A1のリン酸化による制御

○菅原 小莉¹、李 尚憲¹、田口 友彦²、新井 洋由^{1,2,3} (1.東大・院薬・衛生化学、2.東大・院薬・疾患細胞生物学、3.AMED-CREST, AMED)

[1LBA-035] EpsinRはコレラ毒素のリサイクリングエンドソームからゴルジ体への逆行性輸送を制御する

○仁木 隆裕¹、松平 竜之¹、菅原 小莉¹、田口 友彦²、新井 洋由^{1,2,3} (1.東大・院薬・衛生化学教室、2.東大・院薬・疾患細胞生物学教室、3.AMED-CREST)

[1LBA-036] 小胞体膜ストレス応答分子 IRE1の XBP1非依存的な膜飽和化ストレス応答機構

大場 陽介¹、○粟飯原 弘樹¹、河野 望^{1,2}、新井 洋由^{1,3} (1.東大・院薬・衛生化学、2.国立研究開発法人日本医療研究開発機構, PRIME、3.国立研究開発法人日本医療研究開発機構, AMED-CREST)

[1LBA-037] 小胞体ストレスに着目したセレブロンの機能解析

○川井 聡子¹、朝日 透^{1,2}、澤村 直哉^{1,2} (1.早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科、2.ナノ・ライフ創新研究機構)

[1LBA-038] 出芽酵母エンドサイトーシスにおけるエンドソームの融合および成熟に関わる遺伝子の同定

○ト部 玄¹、長野 真¹、十島 純子¹、十島 二郎¹ (1.東京理大・基礎工・生物工)

[1LBA-039] 細胞分裂期のゴルジ体再構成に機能する p55

○金子 弥生¹、下田 恭平¹、近藤 久雄¹ (1.九大・医・細胞工学)

[1LBA-040] 細胞質 DNAに応答する分子 STINGはゴルジ体でパルミトイル化されて活性化する

○向井 康治朗¹、田口 友彦²、新井 洋由^{1,2,3} (1.東大・院薬・衛生化学、2.東大・院薬・疾患細胞、3.AMED-CREST)

[1LBA-041] 分裂酵母の胞子形成において、分泌経路の Rabはスピンドル極体に局在し、胞子細胞膜の形成開始を調節する

○今田 一姫¹、中村 太郎¹ (1.阪市大・院理)

[1LBA-042] 小胞体-ミトコンドリア間のリン脂質輸送タンパク質 VAT-1の構造機能解析

○渡邊 康紀¹、田村 康²、遠藤 斗志也¹ (1.京産大・総合生命、2.山形大・理)

Late-breaking Abstracts | 細胞の構造と機能 | 細胞接着・細胞運動・細胞外基質

[1LBA_3-c] 3-c 細胞の構造と機能 - 細胞接着・細胞運動・細胞外基質

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-043] Identification of new target proteins of Src involved in human colorectal cancer progression

○Shuchismita Basu¹, Yuichi Abe², Kentaro Kajiwar¹, Takeshi Tomonaga², Masato Okada¹
(1. Dept. of Onc. RIMD, Univ. of Osaka, 2. Proteome Research, PRC, NIBIOHN)

[1LBA-044] RacGAP因子 FilGAPは浸潤する癌細胞の運動方向を制御する

○斉藤 康二¹, 神原 仁人¹, 太田 安隆¹ (1. 北里大・理・細胞生物)

[1LBA-045] ガラクトース異性化酵素遺伝子 *gal10* の機能から見る *Trichoderma reesei* が生産する繊維状物質の特性解明

○藤原 南帆¹, 志田 洋介¹, 小笠原 渉¹ (1. 長岡技術大・生物)

[1LBA-046] E-カドヘリンの細胞質ドメインは筋芽細胞において内在性カドヘリンの細胞表面への輸送と細胞融合を阻害する

○小澤 政之¹ (1. 鹿児島大・院医歯学・生化学)

Late-breaking Abstracts | 発生・再生 | 初期発生

[1LBA_4-a] 4-a 発生・再生 - 初期発生

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-047] マウス初期胚における細胞競合の解析

○橋本 昌和¹, 竹之下 憂祐¹, 百合 祐樹¹, 佐々木 洋¹ (1. 阪大・生命機能・初期胚発生)

[1LBA-048] マウス初期胚で働く新規細胞競合関連因子の探索

○竹之下 憂祐¹, 橋本 昌和¹, 松井 求², 豊田 敦³, 岩崎 渉², 佐々木 洋¹ (1. 阪大・生命機能, 2. 東大・院理・生物科学, 3. 遺伝研)

[1LBA-049] 巻貝の初期卵割胚において割球分化を特徴づけるマーカー遺伝子の発現パターンの解析

○梅田 新¹, 秋山 雄伍², 佐々木 和哉², 清水 ゆり², 鈴木 麻奈美², 高橋 厚弥¹, 阿部 真典³, 黒田 玲子^{1,3} (1. 東理大・院理工・応用生物科学, 2. 東理大・理工・応用生物科学, 3. 東理大・研究推進機構・総合研究院)

[1LBA-050] 淡水産巻貝 *Lymnaea stagnalis* の初期発生における Wnt シグナル経路の役割

○高橋 厚弥¹, 阿部 真典², 黒田 玲子^{1,2} (1. 東理大・院理工・応用生物科学, 2. 東理大・研究推進機構・総合研究院)

Late-breaking Abstracts | 発生・再生 | 器官・形態形成・再生

[1LBA_4-b] 4-b 発生・再生 - 器官・形態形成・再生

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-051] ショウジョウバエの左右非対称な組織変形を駆

動する機械的力の測定

○久世 峻史¹, 杉田 修啓², 松本 健郎³, 松野 健治¹, 稲木 美紀子¹ (1. 阪大・院理・生物科学, 2. 名工大・院工・電気・機械工学科, 3. 名大・院工・機械科学)

[1LBA-052] Nε-(carboxymethyl) lysine (CML) は毛球の凝集を抑制し、毛包形成を抑制する

○島田 侑季¹, 田中 公輔¹, 石原 直幸¹, 夏目 知佳¹, 高西 美沙紀¹, 水野 佳奈¹, 藤田 隆司¹ (1. 立命館大・薬学部・分子薬効毒性学)

[1LBA-053] 転写因子 GATA3 低発現マウスはメサンギウム増殖性糸球体腎炎を呈する

○森口 尚¹, 山本 雅之², エンゲル ジェームス³
(1. 東北医薬大・医学・医化学, 2. 東北大・院医・医化学, 3. ミシガン大・医学・細胞発生)

[1LBA-054] Sox3 遺伝子の内耳特異的なエンハンサーにおける Sox 因子と Sal1 による協調的な活性化機構

岡本 優¹, 西村 なおこ¹, 近藤 寿人^{1,2}, 内川 昌則¹
(1. 阪大・生命機能, 2. 京産大・総合生命科学)

[1LBA-055] カイメンの体の部分的な退縮に応じた骨格形成を可能にする細胞機構

○岸本 光司¹, 菅野 稚奈¹, 船山 典子¹ (1. 京大・院理・生物科学)

[1LBA-056] 四足動物における基脚部 (手根骨・足根骨) の発生

○杉浦 雄貴¹, 阿部 玄武¹, 田村 宏治¹ (1. 東北大・院・生命)

[1LBA-057] 平面内細胞極性を司る新規調節機構の解析

○鮎川 友紀¹, 佐々木 雄彦², 山崎 正和¹ (1. 秋田大・院医・細胞生物, 2. 秋田大・院医・微生物)

[1LBA-058] アフリカツメガエル変態における幽門形成因子候補の発現解析

○名倉 京¹, 佐藤 夢子¹, 平良 真規¹ (1. 東大・院理・生物科学)

[1LBA-059] Six4/Six5 二重欠損マウスは初期腹壁の形成不全を示し、臍帯ヘルニアを発症する

○高橋 将文¹, 田村 勝², 川上 潔¹ (1. 自治医大・分子病態治療セ・細胞生物, 2. 理研・バイオセ・マウス表現型解析)

[1LBA-060] ヒト Cereblon ショウジョウバエ相合体

Ohgata はインスリンシグナル伝達経路を介して個体の成長を制御する

○若林 慧¹, 澤村 直哉^{1,2}, Andre Voelzmann³, M eike Broemer⁴, 朝日 透^{1,2}, Michael Hoch⁵
(1. 早稲田大学・理工学術院・先進理工学研究

科、2.早稲田大学・ナノ・ライフ創新研究機構、3.マンチェスター大学・生物医学部、4.独神経変性疾患センター、5.ボン大学・生命医科学研究所)

[1LBA-061] 抜歯後の顎骨再生機構の解析を目的とした動物実験モデルの開発

○久本 芽璃¹、木村 俊介²、岩田 航¹、岩永 敏彦²、横山 敦朗¹ (1.北大・院歯、2.北大・院医)

[1LBA-062] 神経堤細胞特異的 Meis2 コンディショナルノックアウトマウスにおける表現型解析

○太田 正人¹、松本 のどか¹、三谷 結美¹、中山 萌子¹、杉崎 美沙¹、吉田 滯里¹、井関 祥子³、近藤 香²、近藤 隆² (1.日本女子大学、2.神奈川科学技術アカデミー、3.東京医科歯科大学)

[1LBA-063] マウス *Arid2* 遺伝子の発現パターンとその機能の解析

○柳原 由実¹、久保 純¹、小椋 利彦¹ (1.東北大・加齢研・神経機能情報)

[1LBA-064] Notch signal に着目した Club 細胞の細胞運命決定機構

○松尾 顕¹、伊藤 隆明¹ (1.熊本大学 大学院生命科学部 機能病理学分野)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | 脳・神経系

[1LBA_5-a] 5-a 高次生命現象・疾患 - 脳・神経系
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-065] セロトニン2C受容体の RNA 編集は側坐核 NPY 発現と絶望行動の制御に関与する

○渡邊 義久¹、青木 美空^{1,2}、吉本 寛司³、辻村 敦¹、田中 雅樹⁴ (1.京都府立医科大学大学院・基礎老化学、2.京都府立医科大学大学院・歯科口腔科学、3.広島工業大学・食品生命科学科、4.京都府立医科大学大学院・生体構造科学)

[1LBA-066] 中枢神経系疾患発症・進展機序解明に資する新規ヒト活性化アストロサイトモデルの構築

○北村 啓太¹、森尾 花恵¹、鈴木 翔太¹、伊藤 涼¹、更屋 敦則³、大島 基彦³、岩間 厚志³、安西 尚彦²、千葉 寛¹、秋田 英万¹、降幡 知巳^{1,2} (1.千葉大院・薬・薬物学、2.千葉大院・医・薬理学、3.千葉大院・医・細胞分子医学)

[1LBA-067] 脳における染色体整列因子 CAMP の機能解析

○永井 正義^{1,2}、家村 顕自²、池田 真教²、田中 耕三² (1.東北大・院医・医科学、2.東北大・加齢医学研究所・分子腫瘍学)

[1LBA-068] マウスモデルを用いた IL-13 の起痒作用の検討

○森山 正樹^{1,2}、Martin G. Szollosi³、Alan Corcoran³、鈴木 知比古^{1,2}、Shaun Coughlin⁴、M

artin Steinhoff^{2,3,5} (1.Toray Industries, Inc., 2.University of California, San Francisco, 3.University College Dublin, 4.University of California, San Francisco, 5.University of California, San Diego)

[1LBA-069] 線虫 *C.elegans* において緑膿菌に対する忌避行動に異常を示す変異体の単離

○齋藤 隆一^{1,2}、新海 陽一¹、戸井 基道^{1,2} (1.産総研・バイオメディカル、2.筑波大・院生命環境・生物機能)

[1LBA-070] In vivo および in vitro バルブプロ酸暴露による大脳皮質神経細胞のシナプスの表現型解析

○飯島 陽子¹、Katharina Behr³、Barbara Biemans⁴、Josef Bischofberger³、Peter Scheiffel²、飯島 崇利¹ (1.東海大・創造機構、2.Biozentrum, Univ. of Basel、3.Dept. of Biomed., Univ. of Basel、4.F. Hoffmann-La Roche Ltd, Basel)

[1LBA-071] モデルマウスを用いた後天的エピゲノム改変による Kleeftstra 症候群の病状改善を目指して

○山田 亜夕美¹、西村 佳也子¹、平澤 孝枝²、眞貝 洋一¹ (1.理研・眞貝細胞記憶、2.帝京大・理工・バイオサイエンス)

[1LBA-072] D1 ドーパミン受容体を介する神経伝達は運動情報の伝達と運動の発現に不可欠である

○笹岡 俊邦^{1,2,3}、佐藤 朝子^{2,3}、知見 聡美⁴、中尾 聡宏¹、大久保 直³、前島 純³、新井 慧³、砂山 智子^{2,5}、小田 佳奈子¹、酒井 清子¹、前田 宜俊¹、神保 幸弘¹、馬川 恵梨子¹、佐藤 俊哉^{1,3}、藤澤 信義¹、横山 峯介^{1,6}、南部 篤⁴ (1.新潟大・脳研、2.基生研、3.北里大・医、4.生理研、5.東大・院・総合文化研、6.実中研)

[1LBA-073] 線虫 *C. elegans* の CIC 型クロライドチャネル *clh-1* の塩濃度走性における機能の解明

○朴 燦賢¹、櫻井 裕樹¹、國友 博文¹、飯野 雄一¹ (1.東京大学 理学系研究科 生物科学専攻 修士課程 2 学年)

[1LBA-074] 自発的走運動はマウス海馬の mTORC1 経路を活性化する。

○横川 拓海^{1,4}、木戸 康平^{2,4}、阿藤 聡^{2,4}、田中 秀和³、林 達也¹、藤田 聡² (1.京大・人環、2.立命館大・スポーツ健康、3.立命館大学・生命、4.日本学術振興会特別研究員DC)

[1LBA-075] MeA の Oxtr ニューロンが VPA 投与マウスの社会性に重要である

○木野崎 萌¹、矢田 紗織¹、平岡 優一²、日出間 志寿¹、西森 克彦¹ (1.東北大・院農・応用生命科学・分子生物、2.医科歯科・難治疾患・先端分子医学・分子神経科学)

[1LBA-076] サリドマイドの脳虚血に対する神経保護効果の分子メカニズム

○藤原 美紅¹、山田 まりこ²、林 秀樹²、山田 春佳¹、高木 教夫²、朝日 透^{1,3}、澤村 直哉^{1,3} (1.早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科、2.東京薬科大学 薬学部 応用生化学教室、3.早稲田大学 ナノ・ライフ 創新研究機構)

[1LBA-077] オキシトシン受容体欠損マウスへの胎児期ミノサイクリン投与は自閉症様行動を改善する

○宮崎 慎至¹、平岡 優一¹、日出間 志寿¹、西森 克彦¹ (1.東北大院 農 分子生物学)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | 免疫

[1LBA_5-b] 5-b 高次生命現象・疾患 - 免疫

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-078] 細胞質 DNA応答分子 STINGの活性化におけるゴルジ体膜脂質環境の重要性の解明

○菊 史佳¹、向井 康治朗¹、田口 友彦²、新井 洋由^{1,2,3} (1.東大・院薬・衛生化学、2.東大・院薬・疾患細胞生物学、3.AMED-CREST)

[1LBA-079] 細胞質 DNAセンサー STINGの遺伝性変異に起因する炎症応答恒常活性化機構の解析

秋葉 達也¹、○植松 黎¹、向井 康治朗¹、田口 友彦²、新井 洋由^{1,3} (1.東大・院薬・衛生化学、2.東大・院薬・疾患細胞生物学、3.AMED-CREST)

[1LBA-080] 酸化リン脂質選択的ホスホリパーゼを介したマスト細胞活性化制御機構の解明

○嶋中 雄太¹、河野 望^{1,2}、武富 芳隆³、有田 誠⁴、村上 誠^{3,5}、新井 洋由^{1,5} (1.東大院・薬・衛生化学、2.PRIME, AMED、3.東京都医学総合研究所、4.理研・IMS・メタボローム、5.AMED-CREST, AMED)

[1LBA-081] Involvement of poly-rC binding proteins in posttranscriptional regulation of sortilin

○和田 俊樹^{1,2}、松葉 慎太郎¹、Caroline C. Philpott² (1.金沢医科大学、2.NIDDK, NIH)

[1LBA-082] マウス腸管粘膜上皮の杯細胞の終末分化における ATF5の関与

○出口 侑希乃¹、山田 基弘¹、上坂 望¹、勝俣 優利¹、中野 春男¹、梅村 真理子¹、高橋 滋¹、高橋 勇二¹ (1.東薬大・生命・環境応用動物)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | 感染

[1LBA_5-c] 5-c 高次生命現象・疾患 - 感染

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-083] 北海道で分離された新規ダニ媒介性フレボウイルスの性状解析

○鳥居 志保^{1,2}、松野 啓太^{2,3}、中尾 亮⁴、邱 永晋¹、梶原 将大¹、直 亨則¹、村松 美笑子¹、海老原 秀喜⁵、高田 礼人^{1,3} (1.北大・人獣共通感染症リサーチセンター、2.北大獣医・微生物、3.北大・GI-CoRE、4.北大獣医・寄生虫、5.米国国立衛生研究所・国立アレルギー・感染症研究所)

[1LBA-084] シングルセルトランスクリプトーム解析による熱帯熱マラリア原虫遺伝子発現多様性の解析

○救仁郷 圭祐¹、ルントウエネ ルッキー¹、朝日 博子²、山岸 潤也³、鈴木 穰¹ (1.東大・院新領域・メディカル情報生命、2.杏林大・医・感染症学・寄生虫学、3.北大・人獣共通病センター)

[1LBA-085] HIV-1 splice donor siteを標的とする抗 HIV-1 遺伝子発現ベクターの機能

○大山 翔瑚¹、高久 洋^{1,2}、黒崎 直子^{1,2} (1.千葉工大・院・生命環境科学、2.千葉工大・生命環境科学)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | 老化

[1LBA_5-d] 5-d 高次生命現象・疾患 - 老化

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-086] C414A変異 mCRY1トランスジェニックマウスの睥島の異常と導管構造

○岡野 聡¹、安井 明²、菅野 新一郎²、早坂 清^{3,4}、五十嵐 雅彦⁵、中島 修¹ (1.山形大・医・メディカルサイエンス推進研究所、2.東北大・加齢医学研究所、3.山形大・医・小児科学講座、4.みゆき会病院・小児科、5.山形市立病院・糖尿病内分泌内科)

[1LBA-087] 核小体を介した細胞老化シグナルは心筋細胞の肥大を誘導する

○熊澤 拓也¹、西村 和帆²、木村 圭志²、斎藤 能彦¹ (1.奈良医大・医・第一内科、2.筑波大・院・生命環境)

Late-breaking Abstracts | 方法論・技術 | 核酸工学・ゲノム編集

[1LBA_6-a] 6-a 方法論・技術 - 核酸工学・ゲノム編集

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[1LBA-088] 受精卵エレクトロポレーション法によるゲノム編集マウス作製法

○竹本 龍也¹、山下 裕紀子¹、橋本 昌和² (1.徳島大)

- 学先端酵素学研究所、2.大阪大学生命機能研究科)
- [1LBA-089] メチル化 VEGF-Aグアニン四重鎖構造の熱安定性の解析
○寺坂 美槻¹、長澤 和夫²、池袋 一典²、軽部 征夫¹、吉田 亘¹ (1.東京工科大・応用生物、2.東京農工大・院工・生命工)
- [1LBA-090] iVEC: 大腸菌細胞内での DNAクローニング方法
○野崎 晋五¹、仁木 宏典¹ (1.国立遺伝学研究所)
- [1LBA-091] CRISPR/Cas9システムを用いたネムリユスリカ培養細胞のゲノム編集
○宮田 佑吾^{1,2}、十亀 陽一郎^{2,3}、徳本 翔子⁴、櫻井 実¹、黄川田 隆洋^{2,4} (1.東工大、2.農研機構、3.学振、4.東大)
- [1LBA-092] p16INK4a遺伝子座を標的とした CRISPRによるアレール特異的なゲノム結合およびゲノム編集
○藤田 敏次¹、藤井 穂高¹ (1.阪大・微研・推進室・ゲノム生化学)
- [1LBA-093] 抗体医薬品を特異的に認識する抗イディオタイプアプタマーの探索とその特性評価
○齊藤 太郎¹、塚越 かおり¹、轟木 堅一郎²、池袋 一典¹ (1.東京農工大院工・生命工、2.静岡県立大・薬)
- [1LBA-094] ORNi-PCR法および *in vitro* enChIP法の高精度細菌叢 NGS解析への応用
○谷川 直紀¹、藤田 敏次¹、藤井 穂高¹ (1.阪大・微研・推進室・ゲノム生化学)
- [1LBA-095] NGS解析を用いた効率的なゲノム編集 iPS細胞のスクリーニング
○天石 泰典¹、安益 公一郎²、佐藤 将一²、岡本 幸子¹、辻本 善政²、榎 竜嗣¹、鳥田 雅光²、北川 正成²、峰野 純一¹ (1.タカラバイオ(株) CDMセンター、2.タカラバイオ(株) バイオメディカルセンター)
- [1LBA-096] CRISPR/Cas9システムを用いた Duchenne型筋ジストロフィーモデル細胞の構築
○下 剛典^{1,2}、細木 華奈¹、小比賀 聡²、横田 俊文^{1,3} (1.アルバータ大・医歯・遺伝医学、2.阪大・院薬、3.アルバータ大カナダ筋ジストロフィー協会リサーチチェア)
- [1LBA-097] CRISPR-Cas9法による線虫 *C. elegans* の全胚性致死遺伝子への GFP付加の効率評価
○古島 理恵¹、高山 順¹、京田 耕司¹、大浪 修一¹ (1.理研QBIC)
- [1LBA-098] 電気穿孔を用いた直接導入法および *in-planta*法による植物ゲノム編集技術の開発

○坂本 秀樹¹、渡辺 崇人¹、島田 佳南里¹、福原 真樹¹、刑部 祐里子¹、刑部 敬史¹ (1.徳島大・生物資源産業)

- [1LBA-099] Total RNA中の mRNAの絶対量をマルチプレックスに測定する手法
○横森 真麻¹、陶山 明¹ (1.東大・院総合文化・生命環境)
- [1LBA-100] Bloom症候群遺伝子 *Blm* のノックダウンは遺伝子ターゲティングの効率を上げる
○福田 幹子¹、井上 真悠子³、村松 大輔³、宮地 均²、眞貝 洋一¹ (1.理研 細胞記憶、2.京大 ウイルス研、3.京大 生命科学)
- [1LBA-101] CRISPR/Transposon gene integration(CRITGI)による多重プラスミドの染色体導入手法の確立
○増本 博司¹ (1.長崎大・医・共同利用)

Late-breaking Abstracts | 方法論・技術 | タンパク質工学

[1LBA_6-b] 6-b 方法論・技術 - タンパク質工学
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [1LBA-102] 再構成型無細胞タンパク質合成系 PUREfex 2.0による IgGの *in vitro*合成
○村上 智史¹、松本 令奈¹、金森 崇¹ (1.ジーンフロンティア株式会社)
- [1LBA-103] リポソーム結合ペプチド LB-1を用いた脂質二重膜表面へのタンパク質提示手法の開発
○寺井 琢也¹、蛭原 三華¹、大川 僚也¹、小林 省太¹、吉川 祐紀¹、根本 直人¹ (1.埼玉大・院理工)

Late-breaking Abstracts | その他 | その他

[1LBA_7-a] 7-a その他 - その他
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [1LBA-104] ショウジョウバエ求愛行動リズムに対するミオイノシトールの効果
○坂田 一樹^{1,2}、川崎 陽久²、鈴木 孝洋^{2,3}、石田 直理雄^{2,4} (1.筑波大・院生命環境、2.公益財団法人・国際科学振興財団・時間生物学研究所、3.株式会社シグレイ、4.国立研究開発法人・産業技術総合研究所・TIAセンター)
- [1LBA-105] Characterization of STBP-1
○Hirota Kojima¹ (1.Osaka City Univ, Grad. Sch. Med.)
- [1LBA-106] エミュー (*Dromaius novaehollandiae*) における新規遺伝マーカーの開発
○和田 健太^{1,3}、内山 博充²、輿石 雄一¹、田村 淳¹、西山 祐樹¹、大久保 咲³、高橋 剛³、多田 智記

³、古郡 真宗³、大久保 倫子^{1,3}、下井 岳^{1,3}、平山
博樹^{1,3}、相馬 幸作^{1,3} (1.東京農業大学生物産業学
部、2.東京農業大学生物資源ゲノム解析セン
ター、3.東京農業大学大学院生物産業学研究科)



2016年12月1日(木)

ポスター・展示会場

Late-breaking Abstracts | 方法論・技術 | ラボオートメーション・ロボティクス

[2LBA_6-h] 6-h 方法論・技術 - ラボオートメーション・ロボティクス

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[2LBA-001] ロボットクラウドバイオロジー構想の実現に向けて

○神田 元紀¹、谷内江 望² (1.理研・生命システム研究センター、2.東大・先端科学技術研究センター)

[2LBA-002] バイオ産業用汎用ヒト型ロボット「まほろ」によるベンチワークの高度化

○松熊 研司¹、夏目 徹² (1.ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社、2.産総研・創薬分子プロファイリング研究センター)

[2LBA-003] LabSphere - 実験自動化・知能化のためのクラウド・プラットフォーム -

○小澤 陽介¹、櫻田 剛史¹、高橋 恒一² (1.ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社、2.理研・生命システム研究センター)

[2LBA-004] ラボドロイド実証実験 | ヒト型双腕ロボットを活用した定量プロテオミクス解析

○八田 知久¹、LabDroid 6-site Project Group² (1.産総研・創薬分子プロファイリング研究センター、2.LabDroid 6-site Project Group)

[2LBA-005] ラボドロイド実証実験 | ヒト型双腕ロボットを活用した多拠点 Cell-basedスクリーニングの比較・検討

○清水 孝恒^{1,2}、6-site Project Group LabDroid³ (1.慶大・医・先端研・遺伝子制御、2.星薬大・薬・病態生理、3.LabDroid 6-site Project Group)

[2LBA-006] ラボドロイド実証実験 | ヒト型双腕ロボットを用いたクロマチン免疫沈降解析

○松島 隆英¹、LabDroid 6-site Project Group LabDroid 6-site Project Group² (1.東京医科歯科大学・歯学総合・システム発生・再生医学研究分野、2.LabDroid 6-site Project Group)

Late-breaking Abstracts | 方法論・技術 | バイオインフォマティクス

[2LBA_6-f] 6-f 方法論・技術 - バイオインフォマティクス

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[2LBA-007] EAGLE: Explicit Alternative Genome

Likelihood Evaluator

○Tony C Kuo¹、Martin C Frith¹、Jun Sese¹、Paul Horton¹ (1.Artificial Intelligence Research Center, AIST)

[2LBA-008] がんゲノムデータからの Mutation Signaturesモデルの探索

○宇恵野 雄貴¹、浜田 道昭¹ (1.早大・院先進・電生)

[2LBA-009] アフリカンシクリッド複数種のゲノムにおける大規模構造変異解析

○鈴木 健太¹、梶谷 嶺¹、豊田 敦²、二階堂 雅人¹、伊藤 武彦¹ (1.東工大・院生命理工、2.遺伝研)

[2LBA-010] O-GlcNAc転移酵素と UDP-GlcNAcの結合に関わるアミノ酸残基の予測

○藤井 正興¹、田中 純¹、小島 寿夫¹、伊藤 将弘¹ (1.立命館・生命科学・生命情報)

[2LBA-011] 腸内細菌叢における種の弁別アルゴリズムの比較・検討

○高野 幸太¹ (1.株式会社アイソプラ)

[2LBA-012] ヒトの全ゲノムシークエンスデータからの NUMTの検出手法とその評価

○吉田 裕司¹、河合 洋介¹、小島 要¹、三澤 計治¹、佐藤 行人²、長崎 正朗¹ (1.東北大・医学、2.琉球大・研究推進)

[2LBA-013] ディープラーニングを用いたインフルエンザウイルスのクラスタリング

○東 佑之介¹、中里 崇寛¹、浅谷 学嗣¹、田川 聖一²、新岡 宏彦²、池松 秀之³、三宅 淳² (1.阪大・基、2.阪大・院基、3.日臨内)

[2LBA-014] Webツール Macon: Illumina DNA methylation array を用いた DNAメチル化解析 Webツールの開発

○飯田 直子¹、山下 聡¹、前田 将宏¹、牛島 俊和¹ (1.国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野)

[2LBA-015] DDBJデータ解析チャレンジ報告:機械学習コンペティションのタスク設計とルール設定

○神沼 英里¹、馬場 雪乃²、望月 正弘³、松本 拓高⁴、尾崎 遼⁴、岡山 利次⁵、加藤 卓也⁶、沖 真弥⁷、小笠原 理¹、鹿島 久嗣²、高木 利久¹ (1.遺伝研・生命情報、2.京大・院情、3.情報数理バイオ、4.理研A CCC・BiT、5.ビッツ株式会社、6.東大・数理情報、7.九大・院医)

[2LBA-016] 海洋生物ゲノム文献データベースの構築

○浅川 修一¹、Sharmin Siddique Bhuiyan¹、満山 進² (1.東大院・農・水圏工学、2.慶應大・医・遺伝

子医学)

- [2LBA-017] 国際的ゲノムデータ統合のアジア拠点:
The Asian Mirror of the UCSC Genome
Browser Database
○川路 英哉¹ (1.理研・情基セ)

Late-breaking Abstracts | 分子構造・生命情報 | タンパク質

- [2LBA_1-b] 1-b 分子構造・生命情報 - タンパク質
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [2LBA-018] TRPC6チャネルの Ca²⁺ 依存的脱感作過程における Calmodulinの機能とその分子的基盤の解明
○宇野 雅俊^{1,4}、森 誠之²、齊 郷平³、長谷 英治²、丸山 晃和²、今村 香代⁴、有吉 真理子¹、白川 昌宏¹、朽尾 豪人⁴、森 泰生² (1.京大・院工・分子工学、2.京大・院工・合成生物、3.九大・院歯・全身管理歯科、4.京大・院理・生物科学)
- [2LBA-019] 分子動力学シミュレーションを用いた気液界面での ABに関する研究
○伊藤 暁^{1,2}、奥村 久士^{1,2} (1.分子研、2.総研大)
- [2LBA-020] 大腸菌組換え発現した GFPで見いだされる C末端 Lys残基の翻訳後修飾
○安井 典久¹、中谷 隆寛¹、山下 敦子¹ (1.岡山 大・院医歯薬)
- [2LBA-021] 異なる構造のαシヌクレイン凝集体によるプロテアソーム活性への影響
○井村 成^{1,2}、鈴木 元治郎²、久永 眞市¹、長谷川 成人² (1.首都大・院理工・生命科学、2.都医学 研・認知症PJ)
- [2LBA-022] マウス脊髄と後根神経節におけるノシスタチン結合分子 NIPSNAP1によるミトコンドリアの機能解析
○松岡 悦子¹、矢野 裕士²、大津 出²、鍵本 真人²、安永 俊之³、松井 凌介³、坂元 秀幸³、芦高 恵美子^{1,2,3} (1.大阪工大・院工・生体医工、2.大阪工大・工・生命工学、3.大阪工大・工・生体医工)
- [2LBA-023] 転写因子 NRF3はガン細胞の20Sプロテアソーム発現を制御する
○鎌田 七海¹、畠中 惇至¹、梶 美早紀¹、和久 剛¹、小林 聡¹ (1.同志社大・院生命医・遺伝情報)
- [2LBA-024] 中性子小角散乱法と未変性質量分析法による時計タンパク質複合体の構造解析
○柚木 康弘¹、杉山 正明²、矢木 宏和¹、石井 健太郎³、大山 克明⁴、Lionel Porcar⁵、Anne Martel⁵、野田 勝紀⁶、村上 怜子¹、井上 倫太郎²、佐藤 伸浩²、大場 洋次郎²、寺内 一姫⁴、内山 進⁶、加藤 晃一

- ^{1,3} (1.名古屋市立大学大学院薬学研究科、2.京都大学原子炉実験所、3.自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター、4.立命館大学大学院生命科学研究所、5.Institut Laue-Langevin、6.大阪大学大学院工学研究科)

- [2LBA-025] 脱ユビキチン化酵素 USP15阻害剤の探索と機能解析
○勝二 郁夫¹、Lin DENG¹、松井 千絵子¹、南 奈苗¹、阿部 隆之¹ (1.神戸大・院医・感染制御)

Late-breaking Abstracts | 分子構造・生命情報 | 糖・脂質・代謝産物

- [2LBA_1-c] 1-c 分子構造・生命情報 - 糖・脂質・代謝産物
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [2LBA-026] 飽和脂肪酸毒性に対する防御機構における SREBP経路の意義
○菅原 礼¹、中村 将吾¹、河野 望^{1,2}、新井 洋由^{1,3} (1.東大・院薬・衛生化学、2.AMED, PRIME、3.AMED,AMED-CREST)
- [2LBA-027] カプサイシンの新規標的探索と脂質代謝における機能解析
○高橋 さゆり¹、宮坂 恒太¹、小椋 利彦¹ (1.東北 大・加齢研・神経機能情報)
- [2LBA-028] ホスファチジルイノシトール特異的脂肪酸転移酵素 LPIAT1の成体マウスにおける生理機能解析
○徳丸 陽介¹、今江 理恵子¹、久保 卓也¹、毛 艶麗¹、河野 望^{1,2}、新井 洋由^{1,3} (1.東大・院薬・衛生化学、2.PRIME, AMED、3.AMED-CREST, AMED)
- [2LBA-029] 高度不飽和脂肪酸(PUFA)欠損培養細胞の作製
○齊藤 友理¹、石野 雄己¹、向井 康治朗¹、田口 友彦²、新井 洋由³ (1.東大院薬・衛生化学、2.東大院薬・疾患細胞生物学、3.AMED-CREST・AMED)

Late-breaking Abstracts | 分子・複合体の機能 | エピジェネティクス

- [2LBA_2-c] 2-c 分子・複合体の機能 - エピジェネティクス
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [2LBA-030] The Mechanism that Determines the Transgenerational Duration of RNAi in *C.elegans*
○Leah Houry-Ze'evi¹、Yael Korem²、Hila Sheftel²、Lior Faigenbloom¹、Itai A Toker¹、Yael Dagan¹、Lama Awad¹、Luba Dagoni¹、Uri Alon²、Oded Rechavi¹ (1.Department of Neurobiology, Wise Faculty of Life Sciences)

&Sagol School of Neuroscience, Tel Aviv University, Tel Aviv, Israel
6997801.、2.Department of Molecular Cell Biology, Weizmann Institute of Science, Rehovot, 7610001, Israel.)

[2LBA-031] アレル特異的なメチローム情報解析ツールの開発と評価

○小池 佐¹、Hamid Younesy^{2,3}、Julien Richard Albert⁴、小林 久人⁵、河野 友宏¹、Matthew C. Lorincz⁴、Steven J. M. Jones²、Mohammad M. Karimi^{2,4,6} (1.東農大・バイオ、2.Canada's Michael Smith Genome Sci. Ctr.、3.Graphics Usability and Visualization Lab, Sch. of Computing Sci., Simon Fraser Univ.、4.Dept. of Medical Genetics, Life Sci. Inst., The Univ. of British Columbia、5.東農大・ゲノムセンター、6.Qatar Biomedical Research Inst., Hamad Bin Khalifa Univ.)

[2LBA-032] 分光学的手法によるクロマチンリモデリング因子の機能解析

○韓 龍雲¹、山本 れいこ¹、柳道 真帆^{1,2}、三島 優一³、末武 勲³、山田 和弘⁴、原田 慶恵^{1,3,5} (1.京大・iCeMS、2.同女大・生活科学部、3.阪大・蛋白研、4.マックスプランク研究機構・ハイデルベルグ医学研究所、5.京大・院生命)

[2LBA-033] PRDM14転写抑制複合体による動的エピゲノム制御の解明

○山本 真容子¹、諏訪 義昭¹、谷 直紀²、中村 輝²、関 由行¹ (1.関学・理工・生命科学、2.熊大・発生)

[2LBA-034] 脱メチル化完了後のマウス始原生殖細胞におけるヒストン修飾の役割

○川畑 順子¹、神尾 明日香¹、神長 祐子¹、高島 友弥¹、坂下 陽彦¹、小林 久人²、河野 友宏^{1,2} (1.東京農業大学バイオサイエンス学科、2.東京農業大学資源生物ゲノム解析センター)

[2LBA-035] マウス胎子性腺における性分化関連遺伝子転写調節領域の DNAメチル化状態

○久保田 直人¹、表原 拓也¹、山本 杏¹、三浦 由佳¹、平野 哲史¹、南 貴一¹、柳井 翔吾¹、高田 匡¹、米田 直起¹、岩本 遥¹、万谷 洋平¹、横山 俊史¹、北川 浩¹、星 信彦¹ (1.神戸大・院農・応用動物)

[2LBA-036] enChIP法によるゲノムインプリンティング制御領域結合因子の網羅的探索

○吉村 祐樹¹、関田 洋一¹、藤井 穂高²、紺野 亮³、小寺 義男³、木村 透¹ (1.北里大・理・幹細胞、2.大阪大・微生物病研究所・感染症学免疫学融合プログラム推進室、3.北里大・理・生物物理)

○鏡 雅代¹、松原 圭子¹、中林 一彦²、中村 明枝¹、深見 真紀¹、緒方 勤³ (1.国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、2.国立成育医療研究センター研究所周産期病態研究部、3.浜松医科大学小児科)

[2LBA-037] 14番染色体インプリンティング異常症エピソードに対する網羅的 DMRメチル化解析および臨床像についての検討

[2LBA-038] Genome-wide genetic screen for provirus silencing factors in embryonic stem cells with a lentiviral CRISPR-guide RNA library
○福田 溪¹、遊佐 宏介²、眞貝 洋一¹ (1.理化学研究所、2.Wellcome Trust Sanger Institute)

[2LBA-039] 体細胞におけるヒストンメチル化酵素 Setdb1の機能の解析

○加藤 雅紀¹、竹本 経緯子²、眞貝 洋一¹ (1.理研・和光、2.京大・ウイルス研)

[2LBA-040] 維持型 DNAメチル化酵素、Dnmt1、のメチル化活性のヌクレオソーム構造による阻害様式

○三島 優一¹、川上 徹¹、北條 裕信¹、末武 勲^{1,2} (1.阪大・蛋白研、2.JST、CREST)

[2LBA-041] シトシンメチル化が G-quadruplexとタンパク質の結合に及ぼす影響の評価

○齋藤 史織¹、塚越 かおり¹、西尾 真初¹、李 鎮熙¹、池袋 一典¹ (1.東農工大・院工・院生命)

[2LBA-042] 始原生殖細胞によるエピゲノムリプログラミング機構の解明とその人為的制御

○柏田 大樹¹、中村 潤¹、関 由行¹ (1.関学大・理工・生命医化)

Late-breaking Abstracts | 分子・複合体の機能 | その他

[2LBA_2-g] 2-g 分子・複合体の機能 - その他
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[2LBA-043] ナノ秒パルス高電界によるトランスグルタミナーゼ2のカルシウム依存的な活性化

○矢野 憲一¹、諸富 桂子¹ (1.熊本大・パルスパワー科学研究所)

[2LBA-044] 高温ストレス条件下においてシロイヌナズナ転写因子VOZは核とストレス顆粒に移行する

○高口 美早紀¹、山崎 加奈子¹、佐藤 雅彦¹ (1.京府大・院生命・植物分子)

[2LBA-045] コリネ型細菌由来 PDHc/ODHc超複体の相互作用因子解析

○稲葉 龍生¹、山内 健太郎¹、古園 さおり²、川崎

寿¹、夏目 亮¹ (1.東電大・院・工、2.東大・生物生産工学研究センター)

Late-breaking Abstracts | 細胞の構造と機能 | タンパク質プロセッシング・輸送・局在化

[2LBA_3-d] 3-d 細胞の構造と機能 - タンパク質プロセッシング・輸送・局在化

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[2LBA-046] BAG6は膜タンパク質 Tim-3を量的に制御する

○坂山 亮太¹、野口 あや¹、地主 将久²、川原 裕之¹
(1.首都大・院理工・生命科学、2.慶応義塾大・医学部・先端医科研)

[2LBA-047] ミトコンドリア外膜ヘミターゲットした膜タンパク質の分解機構の解析

○松本 俊介¹、江崎 雅俊²、田村 康³、遠藤 斗志也¹
(1.京産大・総合生命、2.熊大・発生研・分子細胞制御、3.山大・理・物質生命化学)

[2LBA-048] FYVEドメインタンパク質 Pib2pの細胞内局在と機能の解析

○城崎 優奈¹、瀬戸 貴成¹、長野 真¹、十島 純子²、十島 二郎¹ (1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・医療保健)

[2LBA-049] 出芽酵母 Arf-GTPase活性化因子 Glo3pによるエンドソーム-ゴルジ間逆行性輸送の制御

○山下 春香¹、小林 宣¹、長野 真¹、十島 純子²、十島 二郎¹ (1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・医療保険)

[2LBA-050] エンドサイトーシスにおけるクラスリン被覆小胞とアクチン細胞骨格の相互作用機構

○吉田 奈央¹、長野 真¹、十島 純子²、十島 二郎¹
(1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・医療保健)

[2LBA-051] エンドサイトーシス経路におけるCORVET複合体によるPI(3)Pの生合成の制御機構

○草苺 健太¹、鱧屋 隆博¹、和田 卓¹、卜部 玄¹、山本 航¹、長野 真¹、十島 純子²、十島 二郎¹ (1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・医療保健)

[2LBA-052] 出芽酵母における Rho3の温度感受性変異のアクチン仲介型エンドサイトーシスへの影響

○池田 みづ希¹、小澤 彩夏¹、久保田 千尋¹、十島 純子²、十島 二郎¹ (1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・医療保健)

[2LBA-053] 酵母キナーゼ Stt4pのエンドサイトーシスにおけるクラスリン被覆ピット形成における役割

○山本 航¹、和田 卓¹、草苺 健太¹、長野 真¹、十島

純子²、十島 二郎¹ (1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・医療保健)

[2LBA-054] 酵母 Rab6/Ypt6による細胞膜受容体のエンドサイトーシス-リサイクリング機構の解析

○佐藤 匠¹、長野 真¹、十島 純子²、十島 二郎¹
(1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・医療保健)

[2LBA-055] 核-細胞質間輸送機構の温度依存性

○小川 泰¹、今本 尚子¹ (1.理研・細胞核機能研究室)

[2LBA-056] PI4リン酸5キナーゼ Mss4pによるクラスリン仲介型エンドサイトーシスの制御機構の解析

○和田 卓¹、山本 航¹、草苺 健太¹、長野 真¹、十島 純子²、十島 二郎¹ (1.東理大・院基礎工・生物工学、2.東京工科大・医療保健)

[2LBA-057] 出芽酵母へのヒト ATPaseサブユニットの機能的な発現

○阿部 通子¹、斎藤 麻由¹、塩川 舟華¹、十島 純子^{1,2}、十島 二郎¹ (1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・医療保健)

[2LBA-058] 出芽酵母単量体 GTPase Rho4p のアクチン骨格を介した小胞輸送における役割

○小澤 彩夏¹、久保田 千尋¹、岡田 明日香¹、十島 純子^{1,2}、十島 二郎¹ (1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京工科大・医療保健)

[2LBA-059] 出芽酵母のエンドサイトーシスにおけるアクチン依存的なエンドソームの運動

○益田 淳史¹、堀込 知佳¹、安藤 格士²、十島 純子³、十島 二郎¹ (1.東京理大・基礎工・生物工、2.東京理大・基礎工・電子応用工、3.東京工科大・医療保健)

[2LBA-060] epsinRの線虫相同分子 RSD-3は細胞外RNAによる全身性のRNAiに参与する

○今江 理恵子^{1,3}、出嶋 克史¹、中台 枝里子¹、新井 洋由^{3,4}、三谷 昌平^{1,2} (1.東女医大・医・第二生理、2.東女医大・統合医科学研究所、3.東大・院薬・衛生化学、4.AMED-CREST, AMED)

[2LBA-061] タイト結合蛋白 occludinのジスルフィド結合を介したユビキチン化は、その細胞内分布や安定性を調節し、細胞増殖に参与する

○田中 敏^{1,2}、高澤 啓¹、村田 雅樹¹、小山内 誠¹、高澤 久美¹、澤田 典均¹ (1.札幌医大・医・病理、2.北大・院医・病理)

Late-breaking Abstracts | 細胞の構造と機能 | 生体膜・細胞骨格

[2LBA_3-e] 3-e 細胞の構造と機能 - 生体膜・細胞骨

格

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [2LBA-062] 内耳蝸牛有毛細胞不動毛の「根」における TRIOBPアイソフォームの役割
○勝野 達也¹、小野 和也⁴、池谷 真²、伊藤 壽一³、北尻 真一郎¹ (1.京大・院医・耳鼻咽喉科・頭頸部外科、2.京大・CiRA・未来生命科学開拓部門、3.滋賀県立成人病センター研究所、4.NIDCD/NIH)
- [2LBA-063] ArfGAP因子 AGAP1による細胞膜動態の解析
○北川 裕介¹、堤 弘次¹、中村 遥¹、柴垣 芳夫²、服部 成介²、太田 安隆¹ (1.北里大・院理・生物科学、2.北里大・薬・生化学)
- [2LBA-064] 飽和脂肪酸含有リン脂質による炎症応答の誘導
栗原 大輔¹、○神田 麻優香¹、北井 祐人¹、河野 望^{1,2}、新井 洋由^{1,3} (1.東大・院薬、2.PRIME, AMED、3.AMED-CREST,AMED)
- [2LBA-065] 神経成長円錐の先端端におけるエンドサイトーシスはフィロパディア形成と関係する
○野住 素広¹、五十嵐 道弘¹ (1.新潟大・院医歯科学・分子細胞機能学)
- [2LBA-066] 細胞膜を模倣したリン脂質非対称膜と生体分子の相互作用観察
○神谷 厚輝^{1,2}、大崎 寿久^{1,3}、竹内 昌治^{1,3} (1.神奈川科学技術アカデミー、2.JST さきがけ、3.東大生研)

Late-breaking Abstracts | 発生・再生 | 幹細胞・細胞分化

[2LBA_4-c] 4-c 発生・再生 - 幹細胞・細胞分化
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [2LBA-067] Identification of fully reprogrammed iPS cells by Raman spectroscopy
○Yulia Rozanova¹、Arno Germond¹、Tomonobu Watanabe¹ (1.RIKEN Quantit. Biol. Center)
- [2LBA-068] RNAリプログラミングを用いた、尿、血液、繊維芽細胞からの臨床用ヒト iPS細胞の樹立
○稲村 充¹、Eminli-Meissner Sarah²、Yi Kevin²、Moon Jung-II²、Poleganov Marco⁴、Beiber Tim³、Sahir Ugur^{3,4}、Huang Chris⁵、Morrell Nick⁵、Rana Amer⁵、Hamilton Brad² (1.リプロセル、2.Stemgent、3.TRON - Translational Oncology at University Medical Center Mainz、4.BioNTech RNA Pharmaceuticals GmbH、5.Division of Respiratory Medicine, Department of Medicine, University of Cambridge)

- [2LBA-069] 線維芽細胞の形質転換体：スフィア
○山口 良考¹ (1.国際医福大・成田保医・医検)
- [2LBA-070] ナイーブ型プライム型多能性幹細胞を分けるエピジェネティックバリアー形成過程の新規DNAメチル化機構
○浦 大樹¹、丹羽 仁史²、阿部 訓也¹ (1.理研RC・疾患ゲノム、2.熊大・発生・多能性)
- [2LBA-071] TET1はヒト iPS細胞をエピプラスト様の分化多能状態に留める
平木 啓子²、船山 静香²、元野 誠^{1,2}、竹越 大輔^{1,2}、Mozhdeh Bagheri¹、○加藤 英政^{1,2} (1.愛媛大・院医・機能組織学、2.埼玉医大・RCGM・TR部門)
- [2LBA-072] 神経幹細胞の radial fiberは自己複製能維持のためのシグナル伝達分子の輸送の場として機能する
○下向 敦範¹、今野 大治郎¹、下郡 智美²、後藤 明弘³、高田 慎治⁴、松田 道行⁵、松崎 文雄¹ (1.理研・CDB・非対称、2.理研・BSI・視床発生、3.理研・BSI・記憶メカニズム、4.岡崎統合バイオ・分子発生、5.京大院・生命・生体防御)
- [2LBA-073] iPS細胞形成における多能性の獲得と維持に関わるストレス応答シグナルの解析
○早川 千尋¹、植山 萌恵¹、小原 惇¹、井原 大¹、原田 恭弘¹、高木 智史¹、中山 宗哉¹、十河 孝浩²、重野 麻子¹、馬場 藍¹、川村 晃久¹ (1.立命館大・院生命・生医、2.国立病院機構京都医療センター展開医療研究部)
- [2LBA-074] iPS細胞形成過程における miR17-92とその標的遺伝子に関する解析
○植山 萌恵¹、井原 大¹、高木 智史¹、中山 宗哉¹、原田 恭弘¹、中川 沙恵¹、小原 惇¹、大矢 知佳¹、十河 孝浩²、川村 晃久¹ (1.立命館大・院生命・生命、2.国立病院機構・京都医療センター・展開医療研究部)
- [2LBA-075] AKTシグナルはαケトグルタル酸を介して体細胞核の初期化を促進する
○松元 愛香里¹、関田 洋一¹、川崎 佑季²、杉浦 悠毅³、小寺 義男⁴、幸田 尚²、石野 史敏²、木村 透¹ (1.北里大・理・幹細胞、2.東京医科歯科大・難治研・エピジェネティクス、3.慶應大・医・医化学、4.北里大・理・生物物理)
- [2LBA-076] 構造解析から見出した多能性幹細胞における自己複製&リプログラミング促進型 NANOG変異体について
○林 洋平¹ (1.筑波大学)

[2LBA-077] Nodal/JNKシグナルは核の移動を介して内胚葉細胞分化を制御する

○穂積 俊矢¹、青木 駿¹、菊池 裕^{1,2} (1.広大・院理・生物科学、2.広大・院理・臨海)

[2LBA-078] ヒト初期細胞の"デフォルト"モデル分化機構の解明

○元野 誠^{1,2}、平木 啓子²、加藤 英政^{1,2} (1.愛媛大・院医・機能組織学、2.埼玉医大・RCGM・TR部門)

[2LBA-079] 単球分化に及ぼすゲニステインの影響

○辻??井 真理¹、泉屋 直輝²、中村 一貴²、伊良部 菜央²、久保 丞未²、斎藤 友希²、熊取 厚志² (1.鈴鹿医療大・院・医療科学、2.鈴鹿医療大・保健衛生・医療栄養)

[2LBA-080] 内耳発生における Sox2転写因子による Nrarpの制御機構の解明

○喜多 知子^{1,2}、山本 典生¹、小野 和也²、Raj Ledher²、田中 かおり³、門田 満隆³ (1.京大・医・耳鼻咽喉科・頭頸部外科、2.理研CDB 感覚器発生研究、3.理研CLST 分子配列比較解析)

[2LBA-081] 生物活性を保持した Wnt蛋白質の新たな調製方法

○三原 恵美子¹、平井 秀憲¹、佐藤 俊朗²、高木 淳一¹ (1.阪大・蛋白研・分子創製学、2.慶応大学・医学部・消化器内科)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | がん細胞

[2LBA_5-e] 5-e 高次生命現象・疾患 - がん細胞
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[2LBA-082] Regulatory mechanism of glioma infiltration on myelin tract

○Lee Seung Hoon¹、Lee Myoung Shin¹、Yoo Seung Min¹、Park Jong Bae² (1.School of Medicine, Eulji University、2.Research Institute, National Cancer Center Korea)

[2LBA-083] エクソソーム内 miRNAを用いた Liquid Biopsyによる犬血管肉腫診断マーカーの探索

○長江 嶺¹、岩野 英知¹、姥沢 雅司¹、渡邊 大裕¹、福本 真也²、打出 毅³、遠藤 能史⁴、廉澤 剛⁴、横田 博¹ (1.酪農学園大 獣医化学、2.北里大 付属動物病院、3.東京農工大 獣医外科学、4.酪農学園大 臨床腫瘍学)

[2LBA-085] 小細胞肺がんの代謝特性と、その標的化戦略

○野村 美有樹¹、盛田 麻実^{1,3}、坂本 良美¹、伊藤 しげみ¹、佐藤 郁郎²、島 礼¹、前門戸 任³、田沼

延公¹ (1.宮城がん研・がん薬物療法、2.宮城がん研・組織バンク、3.宮城がんセ病院・呼吸器内科)

[2LBA-086] 起源細胞での PKMスイッチが、腫瘍細胞のブドウ糖代謝様式を規定する

盛田 麻実¹、野村 美有樹¹、坂本 良美¹、伊藤 しげみ¹、井上 惟¹、佐藤 郁郎²、田中 遼太¹、松本 祥子³、岸本 綾子³、渡邊 利雄³、島 礼¹、○田沼 延公¹ (1.宮城がん研・がん薬物療法、2.宮城がん研・組織バンク、3.奈良女大・院・人間文化)

[2LBA-087] 微小核シグナルによる超早期がん排除機構の解明

○丸山 剛¹、飯島 小百合¹、藤田 恭之¹ (1.北海道大学)

[2LBA-088] E2F標的遺伝子と細胞増殖における ARID3Bの重要な役割

Khandakar A. S. M. Saadat^{1,2}、Endrawan Pratama¹、Widya Lestari^{1,3}、Teng Ma¹、大谷 清⁴、○池田 正明¹ (1.東医歯大・院医歯・分子発生、2.Gaziantep大・医、3.国際イスラム大・歯、4.関学大・理工・生命科学・生命医化)

[2LBA-089] 卵巣明細胞癌および卵巣表層上皮のオルガノイド培養法の確立

○Brandon James Cona¹、林 寛敦¹、川端 絢子¹、秋山 徹¹ (1.東大・分生研・分子情報研究分野)

[2LBA-090] MiR-141は食道扁平上皮癌細胞において発現が亢進し、PI3K-Akt経路における PHLPP2を標的とする

○石橋 宰¹、小川 陽大¹、赤城 一郎²、乾隆¹ (1.大阪府大・院生命環境・生体高分子、2.東京ミッドタウンクリニック)

[2LBA-091] 大腸がん細胞の上皮間葉移行における DNAメチル化の網羅的解析

○田中 裕基¹、西田 憲生¹、板井 美樹¹、西條 早希¹、佐竹 讓¹、藤田 絹代¹、西川 達哉¹、桑野 由紀¹、六反 一仁¹ (1.徳大・院医歯薬・病態生理)

[2LBA-092] ガン細胞集団内における Src活性化細胞の解析

○大倉 寛也¹、梶原 健太郎¹、岡田 雅人¹、藤田 泰之²、石谷 太³ (1.大阪大学微生物病研究所発癌制御研究分野、2.北海道大学遺伝子病制御研究所、3.九州大学生体防御医学研究所細胞統御システム分野)

[2LBA-093] Wnt/c-Myc経路の新規標的 lncRNA: MYUは CDK6の発現を誘導して細胞周期を進める

○川崎 善博¹、小宮 美文¹、松村 厚佑¹、根岸 瑠美¹、須田 咲希子¹、奥野 ます美¹、横田 直子⁴、長田 知也¹、長嶋 剛史²、日吉 雅也³、岡田 真里子²、北山

文二³、白髭 克彦⁴、秋山 徹¹ (1.東大・分生研・分子情報、2.理研・IMS、3.東大・院医・大腸外科、4.東大・分生研・ゲノム情報)

[2LBA-094] 腫瘍微小環境シグナルによる上皮間葉転換およびエクソソーム変化についての解析

○藤原 敏史¹、十川 千春¹、小野 喜章¹、村上 純¹、浅海 淳一¹、小崎 健一¹、江口 傑徳¹

(1.岡大・医歯薬学総合研究科・歯科放射線・歯科薬理・口腔顎顔面外科)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | がん組織

[2LBA_5-f] 5-f 高次生命現象・疾患 - がん組織

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[2LBA-095] ○ 胎児期放射線被ばくと生後の化学物質ばく露との複合影響：胎児期被ばくで生じたゲノム変異の関与

○甘崎 佳子¹、尚 奕¹、鶴岡 千鶴¹、島田 義也¹、柿沼 志津子¹ (1.量研機構・放医研)

[2LBA-096] 三次元培養法を用いた抗がん剤抵抗性モデルの樹立

○白井 達哉¹、櫻井 優²、円城寺 秀平³、川崎 秀吉³、馬田 浩司³、佐野 明子⁴、中島 正夫⁴、恒富 亮一⁴、裕 彰一⁴、大浜 剛²、佐藤 晃一³ (1.山口大・獣医・毒性、2.山口大・獣医・病理、3.山口大・獣医・薬理、4.山口大・医・外科)

[2LBA-097] 口腔がんの悪性化における TGF-βシグナルの役割

○高橋 和樹^{1,2}、井上 カタジナアンナ²、吉松 康裕³、原田 浩徳¹、渡部 徹郎² (1.東葉大・生命科学・腫瘍医学、2.東医歯大・院医歯・硬組織病態生化学、3.東医歯大・院医歯・分子細胞機能学)

[2LBA-098] 悪性黒色腫の進展に伴う腫瘍血管新生におけるインターロイキン13受容体の役割

○富澤 泰志^{1,4}、岡本 勇人¹、佐藤 萌希¹、駒井 真央¹、吉松 康裕²、福原 武志³、原田 浩徳¹、渡部 徹郎⁴ (1.東葉大院・生命科学・腫瘍医学、2.東京医歯大院・院医歯・分子細胞機能学、3.順天堂大院・医学・神経学、4.東京医歯大院・院医歯・硬組織病態生化学)

[2LBA-099] 半導体シークエンサーを用いたがん関連遺伝子のターゲットシークエンス解析

○佐々木 泰史^{1,2}、中垣 貴文¹、田村 みゆき¹、福島 久代¹、池田 博^{2,3}、小山 良太¹、大箸 智子¹、井戸川 雅史¹、仲瀬 裕志²、時野 隆至¹ (1.札幌医大・医・フロンティア研・ゲノム、2.札幌医大・医・消化器・免疫・リウマチ内科、3.札幌医

大・医・血液内科)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | がん治療

[2LBA_5-g] 5-g 高次生命現象・疾患 - がん治療

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[2LBA-100] PP2A阻害因子 SET/12PP2Aの胃癌における役割の解明

○円城寺 秀平¹、矢部 滝太郎¹、吉村 和夫¹、川崎 秀吉¹、櫻井 優²、坂井 祐介²、竹之内 寛子³、吉野 茂文⁴、裕 彰一³、永野 浩昭³、大島 浩子⁵、大島 正伸⁵、Michael P. Vitek^{6,7}、松浦 哲也⁸、筆宝 義隆⁹、白井 達哉¹⁰、大浜 剛¹、佐藤 晃一¹ (1.山大・共獣・薬理、2.山大・共獣・病理、3.山大・院医・消化器外科、4.山大・医病・がんセンター、5.金沢大・がん進・腫瘍遺伝研、6.デューク大・医センター・神経、7.Oncotide Pharmaceuticals社・リサーチトライアングルパーク、8.横浜市大・医病・消化器肝臓、9.千葉国立がんセンター、10.山大・共獣・毒性)

[2LBA-101] チロシンキナーゼ阻害剤耐性膠芽腫細胞における幹細胞性獲得と SFRP1の機能解析

○鈴鹿 淳¹、津田 真寿美¹、王 磊²、谷野 美智枝¹、木村 太一²、西原 広史²、田中 伸哉^{1,2} (1.北大・院医・腫瘍病理学、2.北大・院医・探索病理学)

[2LBA-102] IL27RAの機能阻害による放射線感受性の増感作用

○小野寺 貴恵^{1,2}、菊原 颯太^{2,3}、藤森 浩彰^{1,2}、佐々木 由香^{1,2}、今道 祥二²、村上 康文³、益谷 美都子^{1,2} (1.長崎大院・医歯薬・フロンティア生命科学、2.国がん研究セ・研・創薬臨床、3.東京理科大・院・基礎工)

[2LBA-103] アンドロゲンとビタミン D3による前立腺癌の細胞増殖調節

○五十嵐 晃^{1,2}、渡邊 健太²、由井 理洋¹、笹川 覚¹、平田 美智子³、稲田 全規^{2,3}、宮浦 千里^{2,3}、伊藤 和幸¹ (1.野崎徳洲会病院附属研究所、2.農工大・院・共同先進健康科学、3.農工大・院・生命工学)

[2LBA-104] 転移性癌細胞株に含まれる癌幹細胞様細胞および薬剤耐性についての解析

○難波 友里^{1,2}、十川 千春¹、奥舎 有加¹、村上 純²、浅海 淳一²、小崎 健一¹、江口 傑徳^{1,3} (1.岡大・院医歯薬学総合研究科・歯科薬理、2.岡大・院医歯薬学総合研究科・歯科放射線、3.岡大・歯学部・ARCOCS)

[2LBA-105] 子宮頸癌細胞への放射線照射後の悪性転化における YAP1の役割の解析

○岡森 優唯¹、谷野 美智枝¹、津田 真寿美¹、鈴鹿 淳¹、王 磊²、森谷 純¹、木村 太一²、石田 雄介¹、西原 広史²、田中 伸哉^{1,2} (1.北大・院医・腫瘍病理学分野、2.北大・院医・探索病理学分野)

Late-breaking Abstracts | 分子・複合体の機能 | RNA・RNP

[2LBA_2-e] 2-e 分子・複合体の機能 - RNA・RNP

16:45 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[2LBA-106] ゼニゴケの PARNはミトコンドリア mRNAの poly(A)を制御する

金澤 まい¹、池田 陽子²、西浜 竜一³、山岡 尚平³、河内 孝之³、○平山 隆志^{1,2} (1.岡大・院環境生命、2.岡大・植物研、3.京大・院生命科学)



2016年12月2日(金)

ポスター・展示会場

Late-breaking Abstracts | 分子構造・生命情報 | オミクス

[3LBA_1-d] 1-d 分子構造・生命情報 - オミクス
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)[3LBA-001] 細胞内レドックスプロファイリングとレドックス
スカスケード解析○新木 和孝¹、潮田 亮³、八田 知久²、福井 一彦¹、永田 和宏³、夏目 徹^{1,2} (1.産総研・創薬分子、2.RBI社、3.京産大・総合生命)[3LBA-002] 油脂生産酵母 *Rhodospirium toruloides* の突然変異導入による油脂生産向上因子の同定○宮田 淳史¹、志田 洋介¹、山崎 晴文²、正木 和夫³、森 一樹⁴、田代 康介⁴、久原 哲⁴、高久 洋暁²、小笠原 渉¹ (1.長岡技科大・生物、2.新潟薬科大・応生生命、3.酒総研、4.九大院・農)

[3LBA-003] タンパク質末端大規模解析に向けた新規カルボキシ末端ペプチド濃縮法の開発

○山本 英人¹、木村 迪子¹、若林 真樹¹、杉山 直幸¹、石濱 泰¹ (1.京大院薬)

Late-breaking Abstracts | 分子構造・生命情報 | 分子進化

[3LBA_1-e] 1-e 分子構造・生命情報 - 分子進化
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-004] 変異導入による高効率遺伝子機能破壊技術の検討

○寺井 亮平¹、郡 駿介¹、大村 真優子¹、成澤 大¹、岸本 利彦¹ (1.東邦大・理・生物分子)[3LBA-005] メタゲノムを利用した Glycoside
hydrolaseの環境分布解析○齋藤 禎一¹、Siham Kamal Fatani¹、峯田 克彦¹、五條堀 孝¹ (1.Computational Bioscience Research Center, King Abdullah University of Science and Technology)

[3LBA-006] 鳥類進化において歯の喪失をもたらした可能性のある遺伝的変化に関する研究

○小松 篤史¹、小柳 香奈子¹、渡邊 日出海¹ (1.北大・院情報・生人人間情報科学)[3LBA-007] クサリヘビ科ヘビの分泌型ホスホリパーゼ
A2 (PLA2)をコードする遺伝子クラスター領域の解析○稲丸 賢人¹、千々岩 崇仁¹、山口 和晃¹、林 みず紀¹、柴田 弘紀²、上田 直子³、服部 正策⁴、大野 素徳¹ (1.崇城大・院工・応用生命科学、2.九大・生医研・トランスオミクス医研、3.崇城大・薬・生化

研、4.東大・医科研)

Late-breaking Abstracts | 分子構造・生命情報 | その他

[3LBA_1-f] 1-f 分子構造・生命情報 - その他
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-008] Time-resolved SAXS with low sample

consumption: a way to pursue conformational changes of biomolecules
○Tsutomu Matsui¹、Ivan Rajkovic¹、Ping Liu¹、Thomas M. Weiss¹ (1.Stanford University / Stanford Synchrotron Radiation Lightsource (SSRL), Stanford Linear Accelerator Center (SLAC) National Laboratory)[3LBA-009] 次世代シーケンサーを用いた Coitocaecum
plagiorchisの生活環の解明に向けた試み○北川 健斗^{1,4}、森本 紗世^{3,4}、鹿島 誠^{2,5}、山崎 曜²、李 河映^{2,5}、熊谷 信是^{2,5}、春名 美季⁴、藤田 茜⁴、上原 萌胡⁴、上月 太久真⁴、神尾 祐輔⁴ (1.東大・教養学部・理二、2.京大・院理、3.北大・水産学部、4.白陵高・生物部、5.High-Bio)[3LBA-010] 天然大腸菌株における DNase感受性のプラス
ミド移動松本 晃子¹、世古口 歩華¹、今井 純子²、近藤 久美子¹、柴田 有加¹、○前田 純夫^{1,2} (1.奈良女子大学大学院人間文化研究科、2.奈良女子大学生生活環境学部)

Late-breaking Abstracts | 分子・複合体の機能 | 転写

[3LBA_2-d] 2-d 分子・複合体の機能 - 転写
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-011] TLP(TBP-like protein)は TFIIAによりユビキ

チナープロテアソーム分解から保護される
○磯貝 桃子¹、鈴木 秀文²、前田 亮¹、田村 隆明¹ (1.千葉大・院理、2.東工大・生命理工・生命理工)[3LBA-012] Role of Ad4BP/SF-1 in regulating NADPH
production in Y-1 cells○李 冰¹、馬場 崇²、宮林 香奈子²、佐藤 哲也³、嶋 雄一²、一瀬 智美⁵、三浦 大典⁵、大川 恭行^{4,6}、須山 幹太^{1,3,4}、諸橋 憲一郎^{1,2} (1.九大・シ生命・性差生物学、2.九大・院医・性差生物学、3.九大・生医研・情報生物学、4.JST-CREST、5.九大・先端融合医療レドックスナビ研究拠点、6.九大・生医研・トランスクリプトミクス)[3LBA-013] 枯草菌 ECFシグマ因子 sigXと sigMは
CshAのアセチル化の結果としてグルコース誘導を受ける

○小倉 光雄¹、朝井 計² (1.東海大・海洋研、2.埼玉大・分子生物)

[3LBA-014] 表皮特異的ビタミン D受容体ノックアウトマウスから理解する正常な表皮・毛包維持機構に関する研究

○沢津橋 俊¹、上甲 裕大¹、福本 誠二¹、松本 俊夫¹ (1.徳大・先端酵素研)

[3LBA-015] Ets-2転写因子は内因性 TGF-β2の発現を低下させることで内皮間葉移行(EndMT)を抑制する

○前田 健太郎^{1,4}、吉松 康裕²、宮園 浩平³、原田 浩徳⁴、渡部 徹郎¹ (1.東医歯大院・医歯学・硬組織病態生化学、2.東医歯大院・医歯学・分子細胞機能学、3.東大・院医・分子病理学、4.東薬大院・生命科学・腫瘍医科学)

[3LBA-016] Tat/P-TEFb複合体を用いた

MDシミュレーションにより明らかにされた Tat認識に重要な P-TEFbの局所構造

○朝光 かおり¹、広川 真次^{2,3}、岡本 尚¹ (1.名古屋市大・院医・細胞分子生物学、2.産総研・遺伝子プロファイリングセンター、3.筑波大・計算化学研究センター)

[3LBA-017] がん組織における B型肝炎ウイルスの発現解析

○橋本 浩介¹、Kubra Altinel¹、Wei Yu³、Christine Neuveut³、Ishita Gupta¹、Ana Maria Suzuki¹、Alexandre Dos Santos²、Pierrick Moreau³、Tian Xia³、Soichi Kojima¹、Sachi Kato¹、Takikawa Yasuhiro⁴、Isao Hidaka⁵、Masahito Shimizu⁶、Matsuura Tomokazu⁷、Akihito Tsubota⁷、Hitoshi Ikeda⁸、Sumiko Nagoshi⁹、Harukazu Suzuki¹、Marie-Louise Michel³、Didier Samuel²、Marie Annick Buendia²、Jamil Faivre²、Piero Carninci¹ (1.理研・CLST、2.INSERM、3.Institut Pasteur、4.岩手医科大学、5.山口大学、6.岐阜大学、7.東京慈恵会医科大学、8.東京大学、9.埼玉医科大学)

[3LBA-018] 遺伝子改変ゼブラフィッシュを用いた時計遺伝子 *Bmal2* の機能解析

○ALIFU YIKELAMU¹、Jun Hirayama¹、Hiroshi Nishina¹ (1.東京医歯大・難研・発生再生生物)

[3LBA-019] 新規転移した LINE の転写制御に関する研究

○田村 政人¹、岩森 暖¹、梶川 正樹¹ (1.東工大 院生命理工 生体システム)

[3LBA-020] Cereblonによる Meis2 の転写制御機構の解析

○定方 春樹¹、和田 文慶¹、朝日 透^{1,2}、澤村 直哉^{1,2} (1.早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科、2.早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構)

Late-breaking Abstracts | 分子・複合体の機能 | 翻訳

[3LBA_2-f] 2-f 分子・複合体の機能 - 翻訳

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-021] 合成環状 RNA からのタンパク質発現

○児玉 亜有実¹、阿部 奈保子^{1,2}、友池 史明¹、伊藤 嘉浩²、松本 健²、吉田 稔²、阿部 洋^{1,2} (1.名大・院理・生物化学、2.理研)

[3LBA-022] ポリオウイルスの細胞種特異的な IRES 依存的翻訳の解析

○貞廣 暁利¹、足達 俊吾²、深尾 亜喜良³、船上 仁範³、夏目 徹²、竹内 理¹、藤原 俊伸³ (1.京大・ウイルス研・感染防御、2.産業技術総合研究所、3.近大・院薬・生化学)

[3LBA-023] PABP interacting protein 1 (Paip1) による翻訳制御機構の解析

○青山 智彦¹、大塚 衆志¹、船上 仁範²、深尾 亜喜良²、藤原 俊伸² (1.名古屋市立大・院薬、2.近畿大・院薬・生化学)

[3LBA-024] cap 依存的翻訳における eIF4H の機能解析

○友廣 拓生¹、深尾 亜喜良²、船上 仁範²、藤原 俊伸² (1.名古屋市大・薬、2.近大・薬)

[3LBA-025] 卵成熟における翻訳制御に重要な RNA 顆粒形成の解析

○川村 翔平¹、齊藤 篤¹、小谷 友也^{1,2} (1.北海道大学大学院生命科学院、2.北海道大学理学研究院)

[3LBA-026] RNA 結合タンパク質 HuD による翻訳促進機構の素過程の解析

○大塚 衆志¹、深尾 亜喜良²、船上 仁範²、藤原 俊伸² (1.名古屋市大・院薬、2.近畿大・薬)

[3LBA-027] RNA 結合タンパク質が仲介する mRNA 分解と翻訳との共役

武知 美和¹、○深尾 亜喜良²、船上 仁範²、藤原 俊伸² (1.名古屋市大・薬、2.近大・薬)

[3LBA-028] 再構成型無細胞タンパク質合成系における N 末端コドン最適化による翻訳効率向上

松本 令奈¹、村上 智史¹、○金森 崇¹ (1.ジーンフロンティア (株))

Late-breaking Abstracts | 細胞の構造と機能 | 細胞増殖・分裂・周期

[3LBA_3-f] 3-f 細胞の構造と機能 - 細胞増殖・分裂・周期

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-029] 分裂期キナーゼ Plk1 による紡錘体チェックポイント制御機構とその機能的役割の解明

○池田 真教¹、田中 耕三¹ (1.東北大・加齢研・分子

腫瘍)

- [3LBA-030] 肝星細胞における小胞体酸化還元酵素 ERO1 α の機能解析
○米田 明弘¹、藤井 瑞希^{1,2}、武井 則雄¹、澤田 香織¹、横山 敦郎²、田村 保明¹ (1.北大・産地構・FMI、2.北大・歯学・口腔機能)
- [3LBA-031] 効率的な染色体整列の異常が染色体不安定性を引き起こす
○國安 絹枝¹、家村 顕白¹、田中 耕三¹ (1.東北大・加齢研・分子腫瘍)
- [3LBA-032] 染色体分配に必須の因子 CAMPによるゲノム安定性の維持を司る分子基盤の解明
○藤田 拓樹¹、池田 真教¹、田中 耕三¹ (1.東北大・加齢研・分子腫瘍)
- [3LBA-033] 核小体タンパク質 NOL11は M期の Cdk1の活性化を調節する
○林 優樹¹、藤村 亜紀子^{1,2,3}、加藤 かざし¹、宇田川 里奈¹、広田 亨⁴、木村 圭志¹ (1.筑波大大学院・生命環境科学研究科、2.東京大学大学院・薬学系研究科、3.JST-ERATO、4.がん研・研・実験病理)
- [3LBA-034] ホスファターゼによる分裂期染色体結合タンパク質の制御
○郡司 理紗子¹、松井 亮仁¹、林 優樹¹、木村 圭志¹ (1.筑波大大学院・生命環境科学研究科)

Late-breaking Abstracts | 細胞の構造と機能 | シグナル伝達(翻訳後修飾)

[3LBA_3-g] 3-g 細胞の構造と機能 - シグナル伝達 (翻訳後修飾)

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [3LBA-035] OCHRATOXIN-A SEQUENTIALLY ACTIVATES MAJOR PROTEOLYTIC PATHWAYS, AUTOPHAGY AND UBIQUITIN-PROTEASOME SYSTEM
○HAFIZE AYSIN AKPINAR¹、IBRAHIM YAMAN¹ (1.Dept. of Mol. Biol. and Genet., Bogazici Univ, Istanbul, TURKEY)
- [3LBA-036] アフリカルセプト新規結合タンパク質ガレクチン-1による糖尿病網膜症における病態形成への関与
○神田 敦宏¹、董 陽子¹、野田 航介¹、齋藤 航¹、石田 晋¹ (1.北大・院医・眼科学分野)
- [3LBA-037] LRRK2による Rab10リン酸化: Phos-tagを用いた解析
○伊藤 弦太^{1,2} (1.MRC-PPU, Sch. Life Sci., Univ. Dundee、2.東大・院薬・機能病態)
- [3LBA-038] アルギニンメチル化酵素 PRMT1の核移行メカ

ニズムの解明

- 山本 雄広¹、伊藤 真衣¹、大津 陽¹、長坂 実咲¹、石渡 恭子¹、高野 直治^{1,2}、末松 誠¹ (1.慶應大・医・医化学、2.東京医大・医・生化学)
- [3LBA-039] 酵母 TOR複合体2シグナル経路におけるホスファチジルセリンの役割
○野村 亘¹、伊藤 有亮²、河田 照雄¹、井上 善晴² (1.京大・院農・食品生物、2.京大・院農・応生科)

Late-breaking Abstracts | 細胞の構造と機能 | シグナル伝達(生理活性物質)

[3LBA_3-h] 3-h 細胞の構造と機能 - シグナル伝達 (生理活性物質)

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [3LBA-040] 熱ストレスと膜脂脂肪酸組成変化により活性化される新規 MAPキナーゼ経路の上流因子の探索
○辻 智子¹、山守 なつみ¹、河野 望^{1,3}、今江 理恵子¹、三谷 昌平²、新井 洋由^{1,4} (1.東大院・薬・衛生化学、2.東京女子医大・医、3.AMED,PRIME、4.AMED, AMED-CREST)
- [3LBA-041] ヒト線維柱帯細胞の線維化に対するインターロイキン6シグナルの役割
○井上 みゆき¹、井上 俊洋¹、二口 亜希子¹、藤本 智和¹、小島 祥¹、谷原 秀信¹ (1.熊大・院生命・眼科学)
- [3LBA-042] エストロゲン依存性乳癌細胞のタモキシフェン耐性獲得機構の解析
○山口 憲孝¹、中山 祐治²、山口 直人¹ (1.千葉大院・薬・分子細胞生物学、2.京都薬大・生化学)

Late-breaking Abstracts | 細胞の構造と機能 | 細胞死

[3LBA_3-i] 3-i 細胞の構造と機能 - 細胞死

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [3LBA-043] Quantitative assessment of cell senescence markers in aging *Xenopus* oocytes and eggs
○Alexander A. Tokmakov¹、Surawich Jeens²、Ken-Ichi Sato¹ (1.Faculty of Life Sciences, Kyoto Sangyo University, Japan、2.Faculty of Veterinary Science, Mahidol University, Thailand)
- [3LBA-044] 活性イオウ分子種によるメチル水銀毒性制御機構
○北村 篤志¹、笠松 真吾²、津々木 博康³、井田 智章²、藤井 重元²、澤 智裕³、赤池 孝章²、居原 秀¹ (1.大府大・院理・生物科学、2.東北大・院医・環境保健医学、3.熊本大・院生命・微生物)
- [3LBA-045] ゲラニルゲラノイン酸 (GGA) が誘導するヒ

ト肝癌細胞のオートファジーの不完全応答に関する研究

○岡本 恭子¹、四童子 好廣¹ (1.長崎県大・院・人間健康科学)

Late-breaking Abstracts | 細胞の構造と機能 | その他

[3LBA_3-j] 3-j 細胞の構造と機能 - その他

15:45 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-046] TRIM/RBCC E3リガーゼ NHL-1と相互作用する因子のスクリーニングおよびその機能解析

○井上 英樹¹、高橋 楓¹、香座 知典²、堀 利行²
(1.神奈川工科大学 応用バイオ科学部、2.立命館大学 生命科学部 生命医科学科)

Late-breaking Abstracts | 発生・再生 | 生殖

[3LBA_4-d] 4-d 発生・再生 - 生殖

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-047] 時計遺伝子 Clockの変異は着床に影響する

○天野 朋子¹ (1.酪農学園大学)

[3LBA-048] メダカにおいて卵胞は生殖腺のメス化に必要な

い

○西村 俊哉¹、田中 実¹ (1.名大・院理・生命理学)

[3LBA-049] 生殖細胞の性決定機構～FOXL3制御因子の探索～

○菊地 真理子¹、西村 俊哉¹、齋藤 大助²、須山 幹太²、重信 秀治³、田中 実¹ (1.名大・院理・生命理学、2.九大・生体防御・情報生物、3.基生研・生物機能解析センター)

[3LBA-050] パルミチン酸に起因するブタ卵子内ミトコンドリア機能低下のメカニズムとその制御方法

○伊丹 暢彦¹、植田 愛美¹、白砂 孔明¹、桑山 岳人¹、岩田 尚孝¹ (1.東京農大・院農・畜産学)

[3LBA-051] MaxのDNAメチル化およびH3K9me2/3を介した生殖細胞関連遺伝子抑制機構

○辰日 大気¹、林 陽平¹、遠藤 舞¹、小林 久人²、河野 友宏²、立花 誠³、松居 靖久¹ (1.東北大学加齢医学研究所 医用細胞資源センター、2.東京農業大学 生物資源ゲノム解析センター、3.徳島大学 疾患酵素学研究センター)

[3LBA-052] アフリカツメガエル卵の成熟・受精におけるUPIII-*Src*システムの機能獲得および発現

○佐藤 賢一¹、Alexander A. Tokmakov¹、井尻 貴之² (1.京都産大・総合生命、2.摂南大・理工・生命科学)

[3LBA-053] アフリカツメガエル始原生殖細胞形成におけるGASZの役割について

○多田 葉瑠¹、木下 勉¹ (1.立教大学・理・生命理学)

[3LBA-054] シクロデキストリン誘導性受精能獲得効果を利用した新規不妊治療の開発

○竹本 賢司¹、中尾 聡宏²、吉本 英高¹、入江 徹美³、竹尾 透¹、中潟 直己¹ (1.熊本大・生命資源・資源開発、2.新潟大・脳研、3.熊本大・院薬)

[3LBA-055] 精子の受精能獲得における生体硫黄の役割

○白角 一樹¹、中尾 聡宏²、田村 香菜¹、池田 真由美³、異島 優⁴、竹尾 透¹、中潟 直己¹ (1.熊本大・生命資源・資源開発、2.新潟大・脳研、3.熊本大・院薬、4.徳島大・薬)

[3LBA-056] イエバエの雌性決定遺伝子*transformer*は自己の雌型スプライシングを制御する

○田中 有沙¹、鈴木 雅京¹、青木 不学¹ (1.東大・院新領域・先端生命)

[3LBA-057] 精子形成過程に必須のヒストン修飾によるスプライシング制御機構

○岩森 巨樹¹、富永 薫²、佐藤 哲也³、岩森 督子¹、大川 恭行⁴、小野 悦郎¹、Martin M. Matzuk⁵

(1.九大・院医・実験動物、2.自治医・医・生化学、3.九大・生医研・情報生物学、4.九大・生医研・トランスクリプトミクス、5.ペイラー医大・病理免疫)

[3LBA-058] カニクイザル始原生殖細胞は初期羊膜で形成される

○佐々木 恒太郎¹、中村 友紀¹、岡本 郁弘¹、藪田 幸宏¹、岩谷 千鶴³、土屋 英明³、白木 直人²、高桑 徹也²、山本 拓也⁴、斎藤 通紀¹ (1.京大・医研・機能微細、2.京大・医研・人健・病理、3.滋賀医大・動物生命、4.京大・iPS研)

[3LBA-059] 生殖細胞形成の動物種を超えた共通原理と種特異性

○関 由行¹、川口 真範¹ (1.関学大・理工・生命医化学)

[3LBA-060] 新規精巢特異的 Ectoplasmic Specialization構成タンパク質であるKIAA1210の機能解析

○岩森 督子¹、岩森 巨樹¹、松本 雅記²、小野 悦郎¹、Martin M. Matzuk³ (1.九大・院医・実験動物、2.九大・生医研・プロテオミクス、3.ペイラー医大・病理免疫)

Late-breaking Abstracts | 発生・再生 | 神経発生

[3LBA_4-e] 4-e 発生・再生 - 神経発生

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-061] 胎生期の神経幹細胞における発生時期依存的な BMP応答性変化の分子機構

○本田 瑞季¹、堅田 明子¹、大塚 まき²、山本 直樹²、五十嵐 勝秀²、今村 拓也¹、中島 欽一¹
(1.九大・医・基盤幹細胞、2.星葉大・先端研)

[3LBA-062] IgGスーパーファミリーに属する分子による Robo受容体の応答調節

○本間 俊作¹、島田 孝子¹、渡邊 祐二¹、八木沼 洋行¹
(1.福島県立医科大学・医学部・神経解剖)

[3LBA-063] 前脳形成過程における分泌性因子ゼブラ フィッシュ brorinの役割

○藤林 英徳¹、中西 和也¹、目堅 瑠子¹、三宅 歩¹
(1.京大・院薬・遺伝子)

[3LBA-064] 脆弱 X精神遅滞タンパク質に対するユビキチン リガーゼの同定の試み

○高島 将¹、高橋 徹¹、梁 明秀²、五嶋 良郎³、佐々木 幸生¹
(1.横浜市大院・生命医・機能構造科学、2.横浜市大院・医・微生物、3.横浜市立院・医・分子薬理神経生物)

[3LBA-065] 増殖期の神経幹細胞は上皮極性を再構成する

○楠本 史也^{1,2}、藤田 生水²、松崎 文雄^{1,2}
(1.京大・院生・高次生命、2.理化学研究所多細胞システム形成研究センター)

[3LBA-066] 外脳室下帯幹細胞様細胞を誘導したマウスでは Aspm機能欠損が重篤な小頭症を引き起こす

○藤田 生水¹、末次 妙子¹、今野 大治郎¹、藤森 亮²、松崎 文雄¹
(1.理研・多細胞システム形成研究センター、2.放医研・放射線障害治療研究部)

[3LBA-067] 神経極性形成における4回膜貫通タンパク質-Glycoprotein M6a-の in vivo機能解析

○伊藤 泰行¹、本多 敦子^{1,2}、武内 恒成³、松下 夏樹³、五十嵐 道弘^{1,2}
(1.新潟大・院・医歯学総合研究科、2.新潟大・超域学術院、3.愛知医大・医)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | 代謝

[3LBA_5-h] 5-h 高次生命現象・疾患 - 代謝

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-068] BAX Inhibitor-1 inhibits TRAIL-induced cell death

○GeumHwa LEE¹、Hwa-Young Lee¹、Min Kyung choi¹、Hyung-Ryong Kim²、hanjung chae¹

(1.1Department of Pharmacology and Institute of Cardiovascular Research, School of Medicine, Chonbuk National University, Jeonju, Chonbuk, South Korea、2.DGIST graduate school, Dalseong-gun, Daegu, Korea)

[3LBA-069] 膵島β細胞において内在性 RNA結合タンパク質 NF45が有する新たな細胞制御作用

○SYLVIA LAI¹、樋口 琢磨¹、津田 雅之²、森澤 啓子¹、杉山 康憲⁴、三輪 武司¹、戸高 寛³、坂本 修士¹
(1.高知大・総合研究セ・分子生物学、2.高知大・総合研究セ・動物実験施設、3.高知大・医・循環制御学、4.香川大・農・応用生物科学)

[3LBA-070] In situ肝灌流モデルによる殺鼠剤抵抗性野生クマネズミにおけるワルファリン代謝能の解明

○武田 一貴¹、池中 良徳¹、田中 和之²、中山 翔太¹、谷川 力²、水川 葉月¹、石塚 真由美¹
(1.北大・獣医・毒性学、2.イカリ消毒(株)技術研究所)

[3LBA-071] 酸化リン脂質選択的ホスホリパーゼ(PAF-AH2)の高脂肪食誘導性脂肪肝における防御的機能

○田中 悠貴¹、嶋中 雄太¹、河野 望^{1,2}、新井 洋由^{1,3}
(1.東大・院薬・衛生化学、2.PRIME, AMED、3.AMED-CREST)

[3LBA-072] ミトコンドリア機能と脂質代謝における S kifs遺伝子の役割

○大沼 康平¹、木下 善仁²、入月 浩美²、宮田 由紀子¹、神田 将和²、村山 圭³、武尾 里美¹、岡崎 康司²、相垣 敏郎¹
(1.首都大・理工学・生命科学、2.埼玉医大・トランスレーショナルリサーチ部門、3.千葉こども病院・代謝科)

[3LBA-073] Jurkat細胞の Selenoprotein P取り込みに関与する ApoER2の同定

○堺 菜穂子¹、三田 雄一郎¹、吉岡 佑弥¹、野口 範子¹、斎藤 芳郎¹
(1.同志社大・院生命医・システム生命科学)

[3LBA-074] micro RNA33による Reverse Cholesterol transportの制御

○花田 律子¹、西野 共達²、堀江 貴裕²、桑原 康秀²、西 仁勇²、中尾 哲史²、西賀 雅隆²、中関 典子²、井手 裕也²、小山 智史²、木村 昌弘²、Randolph Ruiz Rodriguez²、曾和 尚也²、木村 剛²
(1.京大・院医・医科学、2.京大・院医・医学)

[3LBA-075] アディポネクチンによる時間依存的ならびに非依存的な糖・脂質代謝調節

和田 平¹、山本 普子¹、○榛葉 繁紀¹
(1.日本大学薬学部)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | 遺伝性疾患

[3LBA_5-i] 5-i 高次生命現象・疾患 - 遺伝性疾患

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-076] デュシャンヌ型筋ジストロフィー mdxマウス

における biglycanタンパク係留療法

○伊藤 美佳¹、江原 佑佳¹、李 晋¹、稲田 亘佑¹、大野 欽司¹ (1.名大・院医・神経遺伝情報)

[3LBA-077] GDD1/ANO5/TMEM16Eの細胞内分布局在
○飛梅 圭¹、久保蘭 和美²、水田 邦子¹ (1.広島大・医歯薬保健院、2.広島大学病院)

[3LBA-078] ポリグルタミン病モデルマウスにおける FUS/TLSヘテロ欠損の影響
○紀 嘉浩^{1,2,3,4}、鷲頭 知花³、黒澤 大^{2,3,4}、山田 みず樹³、土井 宏⁶、内匠 透⁵、足立 弘明⁷、勝野 雅央⁷、祖父江 元⁷、Geoffrey G. Hichs⁸、服部 信孝²、下郡 智美⁴、貫名 信行^{2,3,9} (1.明治薬科大・バイオインフォ、2.順天堂大・院医・神経変性疾患、3.理研・BSI・構造神経病理、4.理研・BSI・視床発生、5.理研・BSI・精神生物、6.横浜市大・院医・神経内科・脳卒中医、7.名古屋大・院医・神経内科、8.マニトバ大・細胞生物、9.同志社大・脳研・認知記憶加齢)

[3LBA-079] *Fgf5*の1塩基欠失変異に起因するシリアンハムスターの雄優性的長毛化と、その種特異性の検証
○高橋 剛¹、吉澤 康博^{2,3}、高橋 希子⁴、下井 岳^{1,4}、亀山 祐一^{1,4}、橋詰 良一^{1,4}、和田 健太^{1,4} (1.東農大院・生物産業学、2.千葉大院薬、3.千葉がんセンター研究所、4.東農大・生物産業)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | 植物

[3LBA_5-j] 5-j 高次生命現象・疾患 - 植物
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-080] ウイルス抵抗性遺伝子*N*のエリシター応答性転写制御における Nタンパク質とイントロンの重要性
○多久 和夫¹、岡村 篤²、佐々木 信光²、丹生谷 博² (1.東京農工大・院、2.東京農工大・遺伝子)

[3LBA-081] 植物病原細菌*Acidovorax avenae*イネ病原性菌株とイネ非病原性菌株間のゲノム配列比較によるイネ病原性に関する T3SSエフェクターの同定とその機能解析
○近藤 真千子^{1,2}、仲 恭輔²、平井 洋行^{1,2}、古川 岳人^{1,2}、吉田 裕貴²、鈴木 愛芽²、蔡 見植^{1,2} (1.長浜バイオ大・バイオ、2.長浜バイオ大院・バイオ)

Late-breaking Abstracts | 高次生命現象・疾患 | その他

[3LBA_5-k] 5-k 高次生命現象・疾患 - その他
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-082] 高濃度グルコース局所塗布による皮膚損傷改善

の分子メカニズム：皮膚バリア分子

Filaggrinおよび Claudin-1発現誘導

○王 静舒^{1,3}、山田 きよ子^{2,3}、指宿 敦子²、金蔵 拓郎²、松下 健二^{1,3} (1.国立長寿研、2.鹿児島大、3.鹿児島大)

[3LBA-083] 熱冷ましに用いられる伝統植物リョクトウによる免疫反応調節メカニズム
○橋口 晶子¹、常陸 圭介²、Wei Zhu³、Jingkui Tian³、土田 邦博²、小松 節子⁴ (1.筑波大・医、2.藤田保衛大・総医研、3.浙江大、4.農研機構・次世代作物開発セ)

[3LBA-084] ショウジョウバエ腸管を利用した哺乳類腸内細菌叢の再構成
○堀 亜紀¹、倉石 貴透^{2,3}、須田 互³、本田 賢也³ (1.金沢大院・医薬保健学総合・創薬科学、2.金沢大・医薬保健・薬学、3.慶應大・医)

[3LBA-085] 筋委縮の非侵襲的評価と長期的筋委縮に関わる遺伝子の探索
○澤野 祥子¹、福島 美咲²、池内 義秀²、辰日 隆一²、中村 真子²、水野谷 航² (1.福女短・食物栄養、2.九大院・農・畜産化学)

[3LBA-086] エレントールおよびパンクレリパーゼ投与によるマウスの盲腸、平行結腸、糞便の腸内細菌叢変動の解析
○西山 拓輝¹、五斗 進¹、永井 知行²、岡崎 能久²、櫻井 俊治²、緒方 博之¹ (1.京大・化研・化学生命科学研究室、2.近大・医・消化器内科)

[3LBA-087] 低濃度白金ナノ粒子による細胞内抗酸化活性化機構の解明
○石井 ふらの¹、濱崎 武記³、樺山 繁⁴、照屋 輝一郎^{1,2,3}、白畑 實隆^{1,2,3} (1.九大・院・生資環、2.九大・院・シス生、3.九大・院・農院、4.日本トリム)

Late-breaking Abstracts | 方法論・技術 | 細胞工学・発生工学

[3LBA_6-c] 6-c 方法論・技術 - 細胞工学・発生工学
15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-088] 最新の生殖工学技術を用いたマウス研究の迅速化
○竹尾 透¹、吉本 英高¹、椋木 歩¹、竹本 賢司¹、白角 一樹¹、田村 香菜¹、野田 雅史¹、須賀原 千明¹、桐木 平 小春¹、山下 紀代子¹、近藤 朋子¹、春口 幸恵¹、中牟田 裕子¹、竹下 由美¹、梅野 智子¹、石田 恵理¹、高橋 郁¹、岩本 まり¹、土山 修治¹、坂本 亘¹、中川 佳子¹、中瀬 直己¹ (1.熊本大・生命資源・資源開発)

- [3LBA-089] 油中液滴と直流電界を用いた遺伝子導入技術の基礎的検討とメカニズムの解析
○岸川 健太¹、高雄 康大¹、栗田 弘史¹、沼野 利佳¹、高島 和則¹、水野 彰¹ (1.豊橋技科大 環境・生命)

Late-breaking Abstracts | 方法論・技術 | ケミカルバイオロジー

[3LBA_6-d] 6-d 方法論・技術 - ケミカルバイオロジー

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

- [3LBA-090] PIポリアミドを用いた体細胞初期化の検討
○佐藤 慎祐¹、板東 俊和²、杉山 弘^{1,2} (1.京大・iCeMS、2.京大・院理・生物化学)

[3LBA-091] 複合体特異的な AMPA受容体の光不活化と恐怖記憶の消去

- 竹本 研¹、岩成 宏子³、永井 健治²、浜窪 隆雄³、高橋 琢哉¹ (1.横浜市大・医・生理、2.阪大・産研・生体分子、3.東大・先端研・計量生物)

Late-breaking Abstracts | 方法論・技術 | 病因解析・診断

[3LBA_6-e] 6-e 方法論・技術 - 病因解析・診断

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-092] NR5A1は、46,XX精巣性分化疾患の新規発症責任遺伝子である

- 五十嵐 麻希¹、高澤 啓²、箱田 明子³、菅野 潤子³、高田 修治⁴、乾 雅史⁴、宮戸 真美¹、福井 由宇子¹、鳴海 覚志¹、馬場 崇⁵、諸橋 憲一郎⁵、田島 敏広⁶、秦 健一郎⁷、中林 一彦⁷、松原 洋一⁸、関戸 良平⁹、緒方 勤^{1,10}、鹿島田 健一²、深見 真紀¹ (1.国立成育医療研究セ・分子内分泌、2.医科歯科大・小児科、3.宮城県立こども病院・内分泌、4.国立成育医療研究セ・システム発生・再生医学、5.九大・医・性差生物学、6.北大・小児科、7.国立成育医療研究セ・周産期病態、8.国立成育医療研究セ・研究所長、9.アバディーン大・医科学研、10.浜医大・小児科)

[3LBA-093] 網羅的 RNAウイルス検出手法

- 浦山 俊一¹、西 真郎¹、吉田 (高島) ゆかり²、高木 善弘^{1,2}、高井 研²、布浦 拓郎¹ (1.JAMSTEC 海洋生命理工学研究開発センター、2.JAMSTEC 深海・地殻内生物圏研究分野)

[3LBA-094] 低酸素環境における視神経障害のヒト in vitro評価モデル

- 田中 卓¹、横井 匡¹、松坂 恵美子¹、仁科 幸子¹、東 範行¹ (1.国立成育医療研究センター研究所・視覚科学研究室)

[3LBA-095] 10BASEd-T法による標的タンパク質のみに結合する環境応答性蛍光プローブの選択

- 植松 秀太¹、井上 寛章¹、望月 和人¹、瀧 真清¹ (1.電通大・院情報理工・基盤理工学)

[3LBA-096] マタニティログ調査：ヘルスケアデータと多層オミックスデータによる妊娠関連疾患の予防・早期発見に向けたコホート調査

- 原田 祐希²、越智 大介¹、山内 隆史¹、山下 理宇²、高井 真子²、荻島 創一²、峯岸 直子²、田邊 修^{2,3}、栗山 進一^{2,3}、布施 昇男²、八重樫 伸生^{2,3}、山本 雅之^{2,3}、マタニティログプロジェクトチーム²、檜山 聡¹、長崎 正朗²、菅原 準一^{2,3} (1.株式会社 NTTドコモ 先進技術研究所、2.東北メディカル・メガバンク機構、3.東北大・医学系研究科)

[3LBA-097] 3D折り紙による形態形成

- 松田 佳祐¹、後藤 寛貴³、近藤 滋² (1.阪大・医、2.阪大・生命機能、3.名大・生命農学)

Late-breaking Abstracts | 方法論・技術 | イメージング

[3LBA_6-g] 6-g 方法論・技術 - イメージング

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-098] 植物細胞の反細胞質領域における蛍光イメージングの検証

- 岩瀬 駿志¹、吉田 昇平²、和田 郁夫³、森木 公平¹、清水 英寿¹、地阪 光生¹、横田 一成¹、中川 強²、○西村 浩二² (1.島根大・生物資源、2.島根大・研究・学術情報機構・総科研セ、3.福島医大・細胞科学)

[3LBA-099] 個々の細胞が発生する力を高効率に定量化するシステムの開発

- 松井 翼¹、出口 真次¹ (1.阪大・基礎工・生体工学)

[3LBA-100] 細胞イメージング解析による EGF受容体リガンドの分類

- 田邊 賢司¹ (1.東京女子医大・総研)

[3LBA-101] がん微小環境を長期間連続観察できる in vivo 顕微内視鏡システムの開発

- 中野 真行^{1,2}、後藤 俊志¹、阪上 (沢野) 朝子³、安藤 亮子³、宮脇 敦史³、渡辺 恭良^{2,4}、片岡 洋祐^{1,2,5}、船曳 和雄^{1,6} (1.理化学研究所・CLST・細胞機能評価研究チーム、2.大阪市立大・院医・システム神経、3.理化学研究所・BSI・細胞機能探索技術開発チーム、4.理化学研究所・CLST・イメージング基盤・応用グループ、5.理化学研究所・CLST・マルチモデル微細構造解析ユニット、6.先端医療セン

ター研究所)

[3LBA-102] ATF4の翻訳活性化機構を利用した統合ストレス可視化モデルマウス開発

○岩脇 隆夫¹、赤井 良子¹ (1.金沢医大・総医研・細胞医学)

[3LBA-103] in vivoイメージングに適した水溶性向上型新規ルシフェリンアナログの開発

○鉢呂 佳史¹、齊藤 亮平¹、木山 正啓¹、北田 昇雄¹、盛満 玲¹、小島 りか²、丹羽 治樹³、牧 昌次郎¹
(1.電通大・情報理工・先進理工、2.慶大、3.脳科学ライフサポート研究センター)

Late-breaking Abstracts | 方法論・技術 | その他

[3LBA_6-i] 6-i 方法論・技術 - その他

15:30 ~ 18:00 ポスター・展示会場 (展示ホール)

[3LBA-104] セルソーターを用いたハイスループット1細胞RNA-seq法 Quartz-Seq2の開発

○笹川 洋平¹、海老澤 昌史¹、團野 宏樹¹、林 哲太郎¹、二階堂 愛¹ (1.理研・情報基盤・バイオインフォマティクス研究開発ユニット)

[3LBA-105] 人工染色体ベクターを用いた多色発光ルシフェラーゼアッセイシステムの開発

○室富 和俊¹、大西 尚子¹、岩城 知子¹、押村 光雄²、中島 芳浩¹ (1.産総研・健康工学、2.鳥取大・染色体工学)

[3LBA-106] 微小血管透過性評価モデル構築のための細胞間結合評価

○薄葉 亮¹、Joris Pauty^{1,2}、高橋 治子¹、藤澤 佳乃子¹、末弘 淳一³、矢野 喜一郎⁴、西澤 友宏⁴、松永 行子¹ (1.東京大学生産技術研究所 統合バイオメディカルシステム国際研究センター、2.東京大学生産技術研究所LIMMS/CNRS-IIS (2820) 国際連携研究センター、3.杏林大学大学院 医学研究科、4.第一三共株式会社)

